

広域連携中学生交流海上体験研修 事業報告書



秦野市・中井町・大井町・松田町・二宮町・清川村

日程:令和7年8月6日(水)~8月8日(金)

～この事業には、市町村振興宝くじ「サマージャンボ宝くじ」の収益金が充てられています～

目 次

1 あいさつ	1
2 研修概要	4
3 研修生内訳について	5
4 研修プログラム	
(1) 事前研修	6
(2) 本研修	8
5 研修レポート	20
6 指導主任、指導担当の感想	40
7 アンケート結果	
(1) 研修生へのアンケート	43
(2) 研修生の保護者へのアンケート	45
資料	
○「望星丸」概要	54
○実施要項	55
○実行委員会規約	58
○運営委員会規約	59

1 あいさつ



「令和7年度洋上体験研修事業を終えて」

秦野市長 高 橋 昌 和

本年8月6日から8月8日の日程で行われた中学生交流洋上体験研修が、無事に終了しました。

この事業は、平成13年度から秦野市の21世紀記念事業として始まり、25年目の今年は、秦野市から22名、中井町から3名、大井町から4名、松田町から3名、二宮町から15名、清川村から10名、総勢57名の研修生に参加いただきました。2泊3日の船上での集団生活を通して、市町村の枠を越えてたくさんの仲間やさまざまな人と交流できたことと思います。

今年はうねりが強く、波も高かったため、船酔いをする研修生が多かったと聞いています。しかし、そんな中で互いを励まし合い、助け合いながら、概ねスケジュールどおりの研修日程を実施することができました。船内や新島で過ごした2泊3日の集団生活では、船酔いのほかにも、普段の生活からは想像できない不便さや窮屈さがあり、その生活の中で気づいた新たな発見があったと思います。研修生の皆さんには、それらを体感し、また、新島でのオーケラリー、海水浴などの活動を通じて、「船上の集団生活を通じて交流と連携を深め、自主性・協調性・人を思いやる心を養う。」、「大海原をはじめ、新島の自然や歴史にふれることで、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。」という研修の大きな目的を達成することができたと思います。

自ら新たな環境に挑戦する勇気、仲間とともに一つのことを成し遂げる楽しさなどと共に、普段の日常生活の中では得ることのできない貴重な体験として、皆さんの今後の人生に役立つことを期待しています。

そして保護者の皆様には、2泊3日という期間、お子さまが親元を離れ、船上で生活することに不安や心配もあったかと思いますが、本事業の趣旨に賛同いただきましたことを厚くお礼申し上げます。

結びに、望星丸乗組員の方をはじめとした東海大学、実行委員及び関係者の皆様の多大なる御支援に、心から感謝申し上げます。



「洋上体験研修に参加して」

広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会
実行委員長 兼 統括責任者 日比 慶久

平成 13 年度から始まった広域連携中学生交流洋上体験研修はコロナによる一時中止をのぞき、今回令和 7 年 8 月 6 日から 8 日にて 25 年目の広域連携中学生洋上体験研修が実施され無事に終了したことを報告いたします。今年度は台風の通過した後でもあり海上におけるうねりが強く、望星丸も縦揺れ・横揺れが強く、研修生の多くが出航してすぐに船酔いに見舞われました。新島は海が荒れ、晴れても上陸が出来無いことが多い島の 1 つでありますが、まさに今回はこの状況に当てはまってしまいました。上陸が出来るかどうか危惧していましたが、望星丸豊田船長始めクルーの皆様のおかげで無事に今回も上陸する事が出来ました。しかし 6 日は着岸に苦戦したため、当初のスケジュールが変更となりました。船酔いからの解放を図る意味合いからも、地に足をつけ空調のよく効いた観光案内所まで赴き気持ちの切り替えを図りました。けれども、船に戻ると再びうねりが強く再度船酔いに苦しめられることになってしまいました。そのためいつもの場所で停泊はせず、揺れが弱い場所をもとめ、船は島の裏側へ避難しました。ようやく落ち着きはじめたところから、翌日の洋上フェスティバルの準備を行っていました。その後、後部甲板に上がり、星空観察会が実施されました。月明かりが強いなかでしたが、「夏の大三角」こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブはしっかり確認することができました。昨年のように甲板に仰向けになることは出来ませんでしたが、船の明かりを消した中、暗闇に煌めく星々が眼前に広がりました。

2 日目はウォークラリーに始まり、海水浴や買い物を楽しみました。前日の湿度の高さから熱中症に対して注意していましたが、気温と共に湿度もあまり高くならず、ハイペースで進みました。海は風により防波堤側に流れていたため、湘南キャンパスライフセービングの学生が安全確保に努め、無事に終わることが出来ました。温泉にも浸り、シャワーを浴びてすっきりして戻ってきました。その後船に戻り洋上フェスティバルの開催となりました。短い時間の中、各班全員が成功させるためよく考え、準備をすすめ、全員で練習した成果を全力で出し切ってくれました。今年はどの班もレベルが高いのと同時に一体感が強く、1 つ 1 つのステップを踏み越えるたび、新しい仲間との交流や絆が深まり、最後は多くの新しい友達が今年も出来ていました。船という特殊な空間における船内生活は人と人の繋がりを育む場でありお互いを尊重しあう場もあります。ここで得た経験は今後において参加した研修生全員にとって大いに役立つものであると思っています。「自ら考える力」「挑み力」「集

い力」「成し遂げ力」洋上体験研修にはこれらすべてを育む要素が含まれており、参加した研修生は知らない間にすべてを実践していると私は今回洋上体験研修航海に参加し強く感じました。最終日には、深海域に生息するプランクトンを始めネクトンと呼ばれる魚の稚仔魚を捕獲することが可能なマルチネットを用いて多くの種類の生物を確認することが出来たと同時に水圧実験にて発泡容器が小さくなることも確認出来ました。

この事業の実施に当たっては、1市4町1村の生涯学習課と小学校やそれぞれの中学校の御理解、そして東海大学、望星丸の乗組員の皆様の御指導と御協力の賜物であることを強く感じています。どこか1つがかけても上手くいかないものであると感じた次第です。裏方となる生涯学習課のスタッフ並びに各市町村の教職員の皆様の支えがあってこそ可能であり、皆様には感謝せざるを得ません。洋上体験研修参加は今年度から原油の高騰から費用が上がってしまいました。現在の日本経済において物価の高騰やエネルギー資源の高騰は各家庭の家計も逼迫させています。このような中で研修を継続することは難しくなっていく可能性も十分考えられます。しかしこのような体験はこれからを生きていく、研修生に取って価値ある物であります。洋上体験研修航海が、これからも継続していただくことを心よりお願いしたいと思います。

今回御協力いただきました皆様に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

2 研修概要

【目的】

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町、清川村（以下1市4町1村という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない海上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や星空観察、島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。

【事業日程】

- (1) 第1回実行委員会：4月11日（金）
 - ・規約案、実施要項案、研修スケジュール案、事業予算案の協議
- (2) 第2回実行委員会：6月11日（水）
 - ・研修生の決定、運営委員の決定、研修スケジュール案、救急医療対応等について
- (3) 運営委員会：6月11日（水）
 - ・運営委員会スタッフの役割、研修スケジュールの確認
- (4) 事前研修：7月12日（土）
 - ・オリエンテーション、アイスブレイク、班内打ち合わせ
- (5) 本研修：8月6日（水）～8月8日（金）
- (6) 第3回実行委員会：11月26日（水）
 - ・事業報告、決算

【使用船】

東海大学海洋調査研修船「望星丸」1, 777トン

3 研修生内訳について

(1) 男女別

男子	女子	合計		
			内参加経験有	(8) 人
32	25	57		

(2) 学年別

1年	2年	3年	合計
25	24	8	57

(3) 市町村別

秦野市						中井町						大井町					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
13	9	11	11	0	22	2	1	2	1	0	3	4	0	2	2	0	4

松田町						二宮町						清川村					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
1	2	0	2	1	3	8	7	7	3	5	15	5	5	3	6	1	10

(4) 学校別人数

※()は参加経験有

	秦野市																			
	本町		南		東		北		大根		西		南が丘		渋沢		鶴巻		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年			1	1	3			1			2	1	1				1			
2年			2 (1)		1 (1)				1 (1)	1 (1)						2		2		2
3年																				
合計	O (0)	O (0)	3 (1)	1 (0)	4 (1)	O (0)	1 (0)	O (0)	1 (1)	1 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	O (0)	O (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	O (0)	2 (0)
	O (0)	4 (1)	4 (1)		1 (0)		2	(2)	3 (0)		1 (0)	2 (0)	3 (0)		2 (0)		3 (0)	2 (0)		

	中井町				大井町				松田町								
	中井		その他		湘光		その他		松田		その他						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
1年	2				2												
2年		1 (1)			2						1	1					
3年											1						
合計	2 (0)	1 (1)	O (0)	O (0)	4 (0)	O (0)	O (0)	O (0)	O (0)	2 (0)	1 (0)	O (0)	3 (1)	O (0)	4 (0)	O (0)	
	3 (1)	O (0)	4 (0)	O (0)	O (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	O (0)							

	二宮町						清川村									
	二宮		二宮西		その他		緑		宮ヶ瀬		その他					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年	3	1	1	2			2	1								
2年	1	2					3	3								
3年	2 (1)	2 (1)			1 (1)					1						
合計	6 (1)	5 (1)	1 (0)	2 (0)	1 (1)	O (0)	5 (0)	4 (0)	O (0)	1 (0)	O (0)	O (0)	11 (2)	3 (0)	1 (1)	9 (0)

4 研修プログラム

(1) 事前研修

- ◆と き：令和7年7月12日（土）
- ◆ところ：はだのこども館 多目的ホール
- ◆内 容

日比実行委員長兼統括責任者のあいさつから始まった事前研修。みんな始めのうちは口数少なく緊張気味でした。本研修のスケジュールを確認する「オリエンテーション」、仲間と打ち解けるための「アイスブレイク」を行い、その後、班長や室長などの役割を決め、洋上フェスティバルのスタンツ（出し物）について打合せしました。



●いよいよ事前研修開始

受付で自分の所属する班を確認し、席に着きました。始まるのを待っている皆の顔は、まだ緊張気味？



時間	主なスケジュール
13時30分	開会・あいさつ
13時40分	オリエンテーション (本研修に向けて)
14時20分	アイスブレイク (仲間作り)
14時45分	班内打ち合わせ ・班長、副班長の決定 ・室長、副室長の決定 ・洋上フェスティバル のスタンツの相談
16時00分	閉会、解散

●日比実行委員長兼統括責任者の あいさつ

日常とは違う、洋上で過ごす3日間、仲間たちと共に過ごすうえでの心構えをお話しいただきました。



●スタッフ紹介

運営スタッフ、指導スタッフが自己紹介しました。指導担当の先生たちの受け持ちの班も発表されました。



●オリエンテーション

しおりを見ながら、スケジュール、持ち物や船上での注意事項について確認しました。

●看護担当からの注意事項

船酔いや日焼け、熱中症対策の話がありました。



●アイスブレイク

仲間と打ち解けるために、後出しジャンケン、バースデーサークル（声を出さずに誕生日順に席替えするゲーム）をしました。いつのまにか気持ちもほぐれて、みんなの顔に笑みがちらほら。

●班内打ち合わせ

班長、副班長を決めたら、本研修2日の夜に行われる洋上フェスティバルの打ち合わせ。発表するスタンツを、班のみんなで考えました。アイデアを出し合って、各班のスタンツが誕生！

(2) 本研修

【1日目 8月6日（水）】

早朝、秦野市役所西庁舎駐車場にて、秦野市の市長、教育長、福田実行委員に参列いただき、研修生の保護者、市町村の職員などに見守られて出発式が行われました。

その後、バスで移動し、清水港から望星丸に乗船。新島へ向け出航しました。青空が広がっていたものの、うねりが強く、波も高い状況でした。普段体験しない揺れに、船酔いする研修生が続出しました。風の影響で着岸時刻が遅れたものの、望星丸は無事新島に着岸し、一行は新島の観光案内所へ向かいました。地に足をつけ、待ちわびていた新島の風を浴びて歩く研修生たちの顔には笑顔が広がっていました。夕食は波の影響によりデッキディナーとはなりませんでしたが、望星丸は波の穏やかな島かけに移動し、夜には夏の星座が高く上った星空を観察して自然の素晴らしさを体験できました。



●出発式

秦野市長、日比実行委員長からごあいさつをいただきました。



●中学生交流宣言

8班の笠井渚さんと前田律人さんが研修への意気込みを宣言しました。

1日目	
時間	スケジュール
6	受付
	出発式、秦野市役所出発
7	バス移動
	富士川SA休憩
8	バス移動
	清水港着、乗船
9	清水港出港（登舷礼）
	船内オリエンテーション
10	
11	昼食 ・ナポリタン ・バナナ
12	船内見学
13	
14	下船準備
15	新島港下船 観光案内所見学
16	移動・乗船・出港
	班内会議
17	
18	夕食 ・ハンバーグと白身フライ ・レタスとキャベツのトマトサラダ 等
19	
20	班内会議 星空観察
21	航海日誌の記入 消灯



●出発式での集合写真

これから2泊3日間の研修航海とともにのぞむ仲間たちです。



●望星丸に乗船

清水港から望星丸にいざ乗船。



●登舷礼（とうげんれい）

サイドデッキで出航の登舷礼。



●救命道具の使い方指導など

住吉事務長から船での注意事項や万一のとき使用する救命道具の使い方を教わり、実際に装着してみました。



●船長のあいさつ

望星丸の豊田船長からごあいさつ。船の仕事に興味をもったきっかけなどのお話をいただきました。



●昼食準備

初めての船内での食事。メニューはナポリタン。揺れる船内で協力して上手に盛り付けできました。



●船内見学①

船の上は初めて見るところだらけ。乗組員の方々から説明を受けました。



●船内見学②

船内には安全に航海するための設備がたくさんあります。興味津々の面持ちで、説明を注意深く聞きました。



●新島港下船

波の影響を受けながらも無事新島港へ着岸。研修生からかっさいが湧きました。新島の風を感じながら観光案内所へ。



●観光案内所（展望デッキ）

新島の観光案内所は涼しく快適な施設でした。2階の展望デッキからは今進んできた青い海を一望できました。

●夕食準備

担当の班でテキパキと配膳。夕食はハンバーグと白身フライ、レタスとキャベツのトマトサラダがありました。



●夕食

波が高いため、デッキディナーは中止して食堂で食べました。班のみんなで、いただきます！

●班内会議①

2日目の洋上フェスティバルに向けて班内会議。演出を練ったり、衣装を作ったり、準備を進めました。



●班内会議②

クイズを練り上げている班もありました。

●星空観察

船の明かりを全部消して星空観察をしました。辺り一面を海に囲まれて見上げた星空は最高の思い出ですね。



●航海日誌の記入①

班ごとに水分補給をしながら、今日の一日の反省や明日の目標を話し合いました。

●航海日誌の記入②

船酔いと戦いながら、助け合って乗り越えた一日の終わりは、どうだったでしょうか？

【2日目 8月7日（木）】

2日目は新島へ上陸し、ウォークラリーを実施。チェックポイントでは班員みんなで知恵を出し合ってクイズに挑戦し、ゴールを目指しました。昼食は、新島村の住民センターで島のから揚げ弁当を頬張り、午後は土産物店で買い物タイム。その後、待ちに待った海水浴を行いました。海水浴の際は、東海大学ライフセービング部の指導でしっかり準備運動を行い、見守られながら、いざ海へ。波に洗われ、新島の海を全身で体感しました。

島の自然を満喫したあと、海洋状況により1日目は入れなかった島の露天風呂へ。その後、船に戻ったら、夕食後は洋上フェスティバルの始まりです。劇やクイズを班ごとに発表し、練習の成果を存分に発揮できました。乗組員のクイズ大会も盛り上ぎました。



●朝のつどい

午前6時起床。洋上での1日が始まります。



●清掃

朝食の前に、分担して望星丸の清掃を行います。2日目の清掃は、3・4・7班が担当しました。

2日目	
時間	スケジュール
6	起床 朝のつどい・清掃
7	朝食 ・卵と青のりの雑炊
8	
9	下船・新島港入港
10	ウォークラリー
11	昼食 ・から揚げ弁当
12	お土産購入
13	海水浴
14	露天風呂入浴
15	乗船・出港
16	班内会議
17	夕食 ・ハヤシライス ・ポテトフライ 等
18	
19	
20	洋上フェスティバル
21	航海日誌・研修レポートの記入 消灯



●朝食

ウォークラリーや海水浴に備え、腹ごしらえ！雑炊が体に染み渡ります。



●新島港下船

下船後、班ごとに分かれてウォークラリーのスタートを待ちます。



●新島港で記念撮影



●ウォークラリー

ウォークラリースタート！
協力してゴールを目指します。島の
景色はどこを見ても新鮮です。

●チェックポイント

先生からクイズが出題され、班で相談して挑みます。



●昼食

住民センターにて昼食。
たくさん歩いて汗びっしょり。
島のお弁当屋さんの「から揚げ弁当」
を食べました。

●お土産購入

新島の商店でお土産を購入します。
島の名物は牛乳せんべい、あしたば、く
さやなど。



●新島の海の前で記念撮影



●準備運動

東海大学ライフセービング部の指導
で海に入る前にしっかり準備運動。

●露天風呂入浴

石造りの温泉は、古代ギリシャの神
殿をイメージして造られています。



●班内会議

洋上フェスティバル前、最後の班内会議です。練習にも熱が入っていました。



●夕食

この日の献立は、ハヤシライス、ポテトフライ、かき氷でした。



●洋上フェスティバル①

いよいよ、各班がこれまでの練習の成果を発揮！優勝はどの班かな～？



●洋上フェスティバル②

どの班も素晴らしい発表でした！
洋上フェスティバルで学んだ「協力すること」をこれからも忘れずに！



●望星丸乗組員のスタンツ

望星丸乗組員のみなさんによるクイズ大会です。

●優勝は2班！

全員が協力し、息ぴったりの素晴らしい劇。おめでとうございます！

【3日目 8月8日（金）】

あっという間に研修最終日。朝食の後は、3日間お世話になった望星丸へ感謝の気持ちを込めて大掃除をしました。

午前中は乗組員の説明を受けながら、海洋観測を実施。持ってきたカップ麺の容器での水圧実験等を行いました。

帰港式ではお世話になった船長、乗組員の方々へ感謝の気持ちを伝えました。

バス移動を経て、はだのカルチャーパーク第1駐車場で解散式。2泊3日の洋上体験研修が無事終了しました。



●朝のつどい

3日目も朝日を浴びながら、ラジオ体操でスタート。駿河湾内からの富士山も望めました。



●朝食

慣れてきて、配膳の準備や盛り付けもスムースでした。

3日目	
時間	スケジュール
6	起床
	朝のつどい
7	朝食 ・ベーコン入りスクランブルエッグ ・豆腐の肉みそがけ ・豚汁
	大掃除
8	整理整頓
	海洋観測 海洋に関する講話
9	昼食 ・チャーハン ・シュウマイと春巻き ・中華スープ 等
	下船準備・清水港到着（登舷礼）
10	帰港式
	清水港出発
11	バス移動
	足柄SA休憩
12	バス移動
	秦野市文化会館着
13	解散式
14	
15	
16	
17	

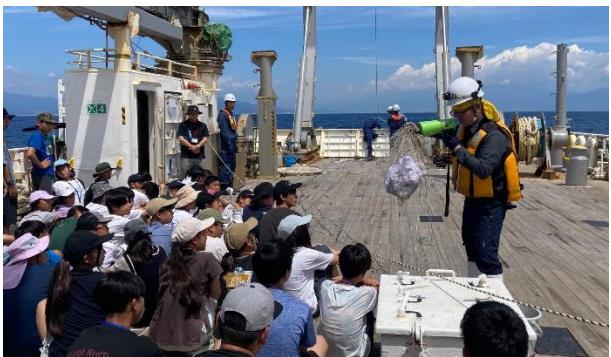


●大掃除①

お世話になった望星丸。一等航海士（チョッサー）の指揮のもと、練習学生の指示に従いながら、心を込めて掃除します。

●大掃除②

班ごとに分かれ、丁寧に一生懸命掃除しました。掃除場所は、食堂、トイレ、通路等。



●水圧実験・海洋プランクトンの採取

ネットに入れたカップめんの容器、プランクトンを採取するための専用の大きな網を沈める様子を見学しました。

●海洋プランクトンの観察①

海から上がっててきたプランクトンを小分けにして各班で観察しました。



●海洋プランクトンの観察②

何がいる？赤い生き物が見える…
これは何だろう？

●海洋プランクトンの観察③

顕微鏡に映る映像と見比べながら、初めて見るプランクトンに興味津々。深い海の生き物の体の特徴などの説明も聞きました。



●水圧実験①

水圧実験を行った後、自分が入れた容器を探しました。水圧がかかって容器がどうなったか…？



●水圧実験②

容器は、元の大きさから3分の1くらいの大きさになりました！



●昼食

望星丸での最後の食事です。みんなすっかり慣れて、片付けもお手のものでした。



●清水港入港（登舷礼）①

今回の研修で良かった点・改善すべき点を各班で相談し、まとめました。その後、清水港入港時、登舷礼を行いました。



●清水港入港（登舷礼）②

2日前に離れた港に戻ってきました。いよいよ望星丸での時間も終わりに近づいています。



●帰港式

（実行委員長兼統括責任者あいさつ）

日比実行委員長兼統括責任者から今回の研修の振り返りと船に対するお礼が述べられました。



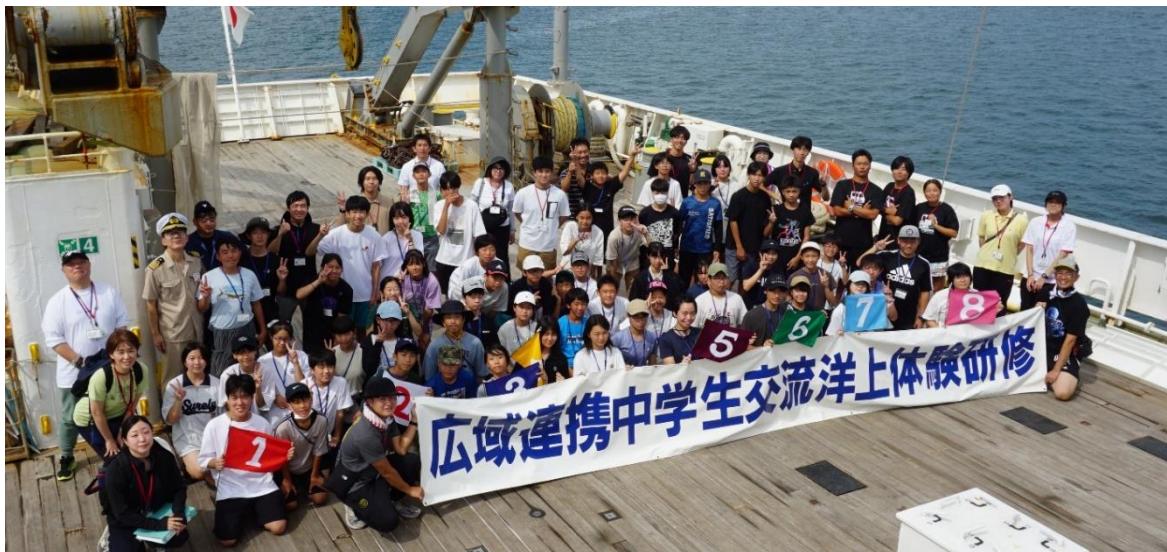
●帰港式（研修生のことば）

1班の二見茉佳奈さんが、2泊3日お世話になった望星丸の皆さんへお礼のことばを伝えました。



●帰港式（船長のことば）

豊田船長から、研修生への激励のことばをいただきました。



●船上での集合写真



●はだのカルチャーパークでの解散式 (実行委員長兼統括責任者のことば)

日比実行委員長兼統括責任者からのことばがありました。また、秦野市教育委員で東海大学教養学部教授の内田晴久先生も駆けつけてくださいました。



●はだのカルチャーパークでの解散式 (研修生のことば)

8班の山口夏空さんが、代表して研修生のことばを述べ、3日間の研修を締めくくりました。

5 研修レポート

【1班】

◆Aさん

今回の洋上体験研修を通して、同じ班や他の班の人などと話すことの大切さを改めて感じた。洋上フェスティバルでのスタンツの話し合いでは、ぎりぎりまでみんなで話し合って、とても良いものを作ることができた。初めて話した人は、その人の住んでいるところのことや、学校のことなどを話せてとても楽しかった。新島でのウォークラリーでは、道を間違えてしまったが、みんなで協力してゴールまでたどり着くことができてよかったです。海洋観察では、海にすんでいる生き物をたくさん見ることができてよかったです。今回の研修はとても思い出に残るものになりました。ありがとうございました。

◆Bさん

新島には色々なれきしがあって、昔にあった建物がしっかり残ってて、新島は、たくさんのれきしが古くからあることにびっくりした。新島のモヤイ像は色んな顔をしたモヤイ像がありすぎて、どれがチェックポイントの写真のモヤイ像か正直わからなかった。海で泳ぐときに、絶対浅そうだなーって思って、いざ入って泳ごうとしたら、思ったより深くて、びっくりした。でも、おぼれる人が一人もいなかつことはよかったですなって思いました。みんなで海であそべて、面白かったし、楽しかったです。船は結構うつらかったけど、みんなで楽しくすごすことができた。海洋観測のときに見た、プランクトンがえびみたいだった。ブタメンがめちゃくちゃ小さくなっていることにびっくりした。他校の子達にせっつきょくてきに話しかけたら、色々な人とかと、仲が深まったと思ったから、同じような体験があったら、同じようにして、仲を深める。

◆Cさん

今回の洋上体験研修で感じたことや学んだことは、酔い止めはだいじだということです。船になれるまではきもちわるくて吐きそうでしたけど、なんとか耐えました。丸稚ネットのときのハダカウオの光体がすごかったです。スタンツでは、エリック王子をやりました。皆で協力できたから良かったです。ウォーカラリーでは、つかれたけど、湯の浜露天風呂の温泉で心も体もスッキリしました。それと、夜の星空観察では夏の大三角形が印象に残りました。ぼくの目標「新しい友達をつくって船になれる」は、新しい友達もできだし、船酔いにもなれました。ありがとうございました。

◆Dさん

今回の洋上体験で、金銭の使い方、友達とのかかわりかた、テトラポッドのきけん性などを知った。とくに、海水よくと、風呂は楽しかった。船酔いはかなり辛かったが、とても勉強になる楽しい体験になった。

◆Eさん

私が今回の洋上体験研修に参加し、感じたことは、思ったよりも海の上がゆれて気もち悪くなったり、食べる時も食欲がなくなったりして危険だということです。学んだことは、命を助けるために付ける救命胴衣の着用方法や、船の構図について詳しく教えてもらい、3日間でとても大切な事を学べました。友達を作るのも大変だったけど、出来たら意外と話せて、仲良くなれた子もたくさんできました。ウォークラリーなどでも協力しながら進めたりし、島の人にも会えて楽しかったです。班活動も、部屋で過ごす時間も沢山あり、充実した3日間を送りました！ありがとうございました！

◆Fさん

新島の海は、しょっぱかったです。あと、波が少し流れていきました。けっこう船がゆれときもちわるくなりました。フェスティバルなど色々なことができた楽しかったです。海を泳いだりして、あつかったのがすずしくなりました。もうしばらく海にいかなくていいと思います。船にのっていたから少しあきもちわるくならなくなりました。うごいているときは、波がすごくあれていました。楽しかったです。



◆Gさん

行くまでは「キラキラの青春」になると思っていたけれど、想像以上に船よいや、風の強さなどで辛かったです。ただ、船や海の知識を知れておもしろかったです！中学校が地元じゃないので、疎外感があったのですが、来てみれば全然そんなことがなくてうれしかったです。また、学校生活と違い、2泊3日という短い期間の関係だったので、とにかく的気楽に自分を出しながら過ごせたなと思います。制限があるし、集団行動だし、船の上だけで、普段の生活の数倍はきつかったけれど、精神面で自分が成長していることを感じられました。楽しかったです！ありがとうございました！

◆Hさん

今回の洋上体験で心に残っているのは、他校の人たちとの交流です。他校の人たちとは、関わりがなかったから、仲良く、楽しくできるか不安だったけど、同じ班の女子が話しかけてくれたので班のみんなと楽しく過ごすことができたし、別の班の人たちとも仲良くなることができました。あと、班内の上下関係もなく、とても楽しかったです。大学生のお姉さんとも海水浴の時に仲良くなれて、今回、たくさんの友達ができたと思います。学習系では、ウォークラリーの時に協力してクイズに答えることができ、マナーと時間を意しきして行動することができました。そして、島の人たちとすれちがった時に、自分からあ

いさつをしました。すると、島の人もいさつをしてくれたので、とてもうれしかったです。この洋上体験では、たくさんの友達をつくり、協力することができました。船よいもしましたが、今年の夏一ばんの思い出です。また、来年も洋上体験に参加したいと思いました。



【2班】

◆Aさん

私は、今回の洋上体験研修に参加して2つ学んだことがあります。1つ目は、船よいについてです。今回は波風が強く、船体が大きくかたむき、船よいでの気分がわるくなってしまう人が多くいました。その中で、よっていない人がよっている人をよく気にかける大切さを実感しました。2つ目は、去年から学んだことです。自分は昨年もこの洋上体験研修に参加しました。前回の体験では、天気が晴れで、予定をすべて実行することができました。しかし今年は、くもりが多く、波もあれています。このような体験から、晴れのありがたさと、海や波の表情のちがいを学べました。私は上に書いたこと以上にも、たくさん学び感じたことがあります。この3日間は、私にとっては、とても短く感じました。また機会があれば、この研修に参加したいです。

◆Bさん

私は今回の洋上体験研修に参加して、学んだ事や感じたことなどが2つあります。1つ目は班の仲間との協力です。最初、はじめてあつたとき全員話しあいにあまり参加していませんでした。けれど時間がたっていくにつれて、自分の意見を全員が積極的に言えるようになりました。2つ目は、他校の人との交流です。研修当日、はじめてあつた人もいる中で、色々な学校の人と仲良くなれました。以上の事が今回の洋上体験研修に参加して学んだ事や感じた事です。



◆Cさん

まず私が感じた事は自然の美しさ、厳しさです。船に乗った時から早々酔ってしまいましたが、新島の風をあび、景色を見て、自然の美しさと厳しさを同時に感じました。次に学んだことは、仲間の大切さです。私が体調が優れなくて休んでいた時、当番の仕事をやってくれました。また、「大丈夫?」等優しい言葉をかけてくれました。この洋上体験研修で結ばれた絆はほどけないんじゃないかなと思います。みんなで力を合わせた「美女と野じゅうと金太郎」が優勝できてとても嬉しかったです。



◆Dさん

私は、洋上体験研修で市町村の枠を越えて交流することができた！！違う班の人とも話すことができた！1日目は船酔いがえぐすぎて班の人にめいわくをかけた…だから2

日目は自分からうごくようにした！洋上フェスティバルでは1位をとることができた！うれしい！！！あきらめないで班の仲間を信じられた気がしてすごい良い経験ができた！！他の班の発表はどの班も声が大きく、どうどうとしている、他にもいいところがたくさんありました！！ウォークラリーは、モヤイ像の由来を、商工会館の人々に話をきいたりして新島の自然、歴史について学べたと思いました！！3日目、大掃除ではみんなで協力しながら感謝を忘れずがんばった！！船酔いがすごくやばかった…でも楽しかった！ありがとうございました！！

◆Eさん

私は洋上体験研修を終え、船の上で暮らす大変さを学びました。私たちのために魚を取り、長い時間船の上に乗っている人がいると思うと、すごい感謝しないといけないなと思いました。私がその立場だったら、たえられる気がないです。おもしやおさしみなど食べれることがあたり前ではないことが分かりました。海洋観測で、ラーメンカップを海水に入れ、数分後とり出したら、カップがちぢんでいたことにびっくりしました。「なんでちぢんだの」とぎもんに思いました。私は今回の洋上体験研修に参加してよかったですと思いました。船酔いしつつも、他校の人と交流したことにより、コミュニケーション力を高めることができ、一つ成長できたと感じたからです。またきかいがあれば参加したいと思いました。



【3班】

◆Aさん

私が今回の洋上体験研修で学んだことは、船上や海でのすごしかたを学びました。特に、酔いやすいということがわかったので、次、船上で過ごすときは、酔い止めをもっていくようにしたいと思います。最初はぐあいがわるくなってしまってたいけんをできなかつたけど、酔い止めをのんだらぐあいがよくなり、その後は全部のたいけんにさんかできました。洋上フェスティバルでは、ぐあいが少しわるくなってしまった人もいたけど、全員がたのしくできました。他のはんも、少ない時間の中ですごいものを見ようとしてとてもおもしろかったです。次、らい年のけんしゅうもさんかしたいと思います。

◆Bさん

今回の洋上体験研修で学んだこと。今回の洋上体験研修でプランクトンとはどんなもののかが分かった。プランクトンとはふゆう動物のことでも大きなものでも小さなものでも「プランクトン」というのだということが分かった。他になぜ海の下になれば下に行くほど赤になりそれから黒になるかが分かった。それは光の波が深くなればなるほど減すしていくからだ。まず先に届かなくなる色は赤だ。だから体の色が赤になれば他の魚に食べられにくくなる。黒になる理由は光がほとんど届かないから黒に体が変色したのだった。そこからまた下に行けば白になっていく。これはもうなにも見えないから黒や赤になる必要がないから。このようなことが今回の洋上体験研修に参加して勉強になったことだった。



◆Cさん

船はかこくだし、大変だということがわかったし、魚をとるのも、すごいことだとわかりました。他の中学と交流もあって初めて合う人とのせっしかたやしゃべり方を知るきかいになりました。新島では自然のゆたかさや島の人とのあいさつ、人のことを考えて行動することを学びました。海の下にいけば行くほど、カップは、水圧で小さくちぢむことがわかりました。今回の研修でいろんなことをまなびました。本当にありがとうございました。来年も新島に行きたいです。ネットの種類がおもったよりあってびっくりしました。おもったよりブタメンがちぢまっていてびっくりしたし人によってちぢみ方がちがった。

◆Dさん

私は2泊3日の洋上体験に参加できて、とてもうれしかったです。はじめてのことで緊張や不安もあったけど、先生やスタッフの方々が優しく接してくれて、2泊3日を楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。この洋上体験を通して、協調

性も大事だけど、ルールやマナーを守って楽しむことも大事だと思いました。また、このような貴重な体験ができて、夏休みの忘れられない最高の思い出になりました。本当にありがとうございました。また機会があれば、よろしくお願ひします。

◆Eさん

私がこの洋上体験研修で学んだ事は主に2つあり、1つ目は協調性です。皆でご飯の後片付けに取り組んだり、洋上フェスティバルの出し物について話し合うなどの皆で協力してこその事が沢山ありました。そして皆で話し合って一つの事に取り組む事の大切さを学びました。2つ目は思いやりです。酔ってしまった人がいたら先生を呼んであげたり、困っている人がいたら手伝ってあげたり、助け合いによって皆が快適に過ごせるということを学びました。その他にもこの洋上体験研修によって学んだ事は数えきれないほどです。この学んだ事を日々、心がけて過ごしていきたいと思います。今回の洋上体験研修のスタッフの方々、東海大学海洋学部の方々、そして望星丸には本当にお世話になりました。もしまた機会があったら参加して、もっと色々な事を学び、色々な視点から物事を見れるようになりたいです。



◆Fさん

僕はこの研修で、時間を守る事がとても大切なことを改めて知りました。研修の1日目、おみやげ屋でレジに並ぶ列に並んでいたら、集合時間を1~2分過ぎて、班の人迷惑をかけてしまいました。それから、時間厳守を意識して2日目、新島でウォークランなどをしました。2日目時間を守れたことで、1日目より気持ちよく終われました。また、この研修で、海のさまざまな楽しさや脅威を知れました。大きな船でも結構揺ることや、風にとても影響されることが分かりました。海で泳いだり潜ったりすることをあまりしたことがなかったので、今回の海水浴で、潮の引きはかなり強く、油断するとバランスをくずしてしまうことも分かりました。これからも、日頃から時間を守ることを意識し、波の様子にも注意して、海難事故などにあわないようにしたいです。また参加できる機会があったら、参加したいと思っています。

◆Gさん

海上のきびしさや、新島の文化などを感じて、仲間との協力を深められていい体験になったと思い、学習することと、協力することがすごくいい洋上研修になり、最後まで市町村関係なく楽しめました。深海の生物は私が知っている魚以外にも、プランクトンや、海洋観測の意味も知り、非日常的な体験をした3日間でした。友達と協力することで、洋上フェスティバルでも2位を取りましたが、1位を取れなかったのと、個人賞を

取れなかったのがすごく悔しくて、来年こそは絶対に1位と個人賞を取りたいです。この研修ですごくいい体験をしたのが1番の思い出です。



【4班】

◆Aさん

知らない人たちとの共同生活は価値観の違いからすれ違いから少しもめることもありました。そして、団結力・協力がとても大事だと思いました。人の意見をまとめるのはむずかしいと思いました。はじめて船酔いをけいけんして、船酔いって大変だなと思いました。人間関係って色々と大変だと思いました。ウォークラリーの時に思ったので、次からはきちんと話しかけてかいけつしたいです。

◆Bさん

同じ班に知り合いがないというのは人と自主的に関われない私にとって予想以上に重大な事で、まだ班員の名前も覚えられていないのに話しかけるとか無理でしょっ！ってずっとピクピクしていました。でも、いざ話してみるとと思っていたよりも話が合う人だったり、意外な共通点があったり、ピクピクするほどじゃなくてとても安心できました。でもやっぱり昨日今日出会ったばかりでお互いを理解するのは難しく、特に意見の出し合いをする時には、けんかっぽくなる事も多々ありました。意見を言う、聞くだけでなく、じゃあそれを踏まえてどうすべきかの部分をまとめめる能力が必要なんだと強く学びました。



◆Cさん

今回の洋上体験で学んだことは船の中の生活で通路でさわいだりしてはいけないということです。三人制で船を動かしていて、その中ではねている人がいるからです。また、船の中ではあまりゆれが強くないと思っていたけどなかなか上下にゆさぶられていてビックリしました。感じたことは、研修生がみんなフレンドリーで親しみやすかったことや、船中のご飯は思っていたよりもごうかで量が多く、とてもおいしかったです。あっしゃくしたら容器ももちろん字までちっちゃくなっていてビックリしました。

◆Dさん

知らない人のコミュニケーション力をまなべた気もするし、いろいろな人が使う所でのマナーをあらためて考えるようになりました。また、知らない人とのだんけつ力の方法を学べました。感じたことは、人がマナーを守っているからこそその自然だと思います。

◆Eさん

①協力するたいせつさ。この研修でまず、人と協力する重ようせいをまなびました。研修は1人ではできないことがたくさんあります。はいぜん、ウォークラリーやベッドメイキングは人と協力しないとなにもすすまないから、せっきょくてきてつだって、大変なときにたすけてもらうということをまなべました。②集団生活でかんじたこと。きほんてきにはいろいろな人となかよくなれてよかったです。集団生活ならではのこともできたけどやっぱりなかよくできない人もいたから自分をみつめなおすききっかけになった。③楽しかったこと・いんしょにのこったこと。ウォークラリーの昼…4人どうじにボトルフリップせいこう。水圧でちぢめたやつ…まだブタメンのにおいのこってたwみにまむさいずですごい！

◆Fさん

僕は性格が合わない人なども居たけど、とても楽しめました。海水浴や洋上フェスティバルなども合って、とても楽しかったです。また、思っていたより海は冷たかったし、航海ではとてもゆれたりすることが分かりました。明日は最後ですが、海洋かんそくや帰りのバスなど、他にも色々な事があって、とても楽しそうだと思いました。

◆Gさん

今回船にのって感じたことは、船はすごくゆれるんだなと思いました。とても酔いました。ねるときは逆にゆれがちょうどよくてよくねれました。音がいろいろ聞こえたけど、いがいと大丈夫でした。ご飯はけっこうおいしかったです。ハンバーグがおいしかったです。新島は、むしあつかかったです。海水がとてもしょっぱくてびっくりしました。風もすごかったです。海にカップラーメンをしづめたら、ちぢみました。においがまだのこってました。

◆Hさん

まだ知らない人たちと一緒に生活していくには、団結力・協力が必要なことが学べました。人はそれぞれの価値観があるから、自分の意見をどう伝えたらいいか、話をどうまとめればいいかなどの小さい事でも自分で考えるような時間がふえました。性格的な違いはあったりするからその中でどう接していくかの大変さが感じられました。最初は去年出ていなかったから不安があったけれど、みんな自分から話しかけられたりしたら、話せるようになって不安が無くなったけど、常に船酔いと隣り合わせで大変でした。けれど来年もきかいがあったら、来たいです。



【5班】

◆Aさん

初めて知らない人が多くいる中に入つて3日間をすごしました。はじめは、「私は班長だから」「室長だから」と1人でがんばらないと、思っていました。ですが、長い時間をすごしてまわりの人に助けてもらうことの大切さを感じました。私はグループワークをあまりしたことがなく、うまくまとめられるかとても不安でした。でも、班の人たちや先生達のサポートのおかげでうまく話し合いをすることができました。今回の経験を生かして、高校に行った時にうまく話し合いができるようになりたいです。



◆Bさん

初めてのことが多かったけれど、初めての中でこそ創ることができた友達や友情、責任感や自立心など、自分の目標に向けてがんばる力をつけることができました。船の中だからこそ船酔いなどがあって、より周りのことを見れるようになって、とても良かったと思っています。ウォークラリーや海、露天風呂を通じて、自然の大切さや日本固有の自然を大切にしていくと感じました。船での生活や新島でのウォークラリーを行うことができて、海や船など、「水」の存在により近くふれることができて楽しかったです。海洋観察でのプランクトンの採集やカップなどで海のことをたくさん知れて、とても良い経験になりました。ありがとうございました。



◆Cさん

ぼくがこの研修で一番感じたことは、としの差を感じないことです。としの差があるっても、だれもが先ぱい、後はいとしてではなく、仲間として接していると感じました。同時に、船酔いでつらいときに、「大丈夫?」と言ってもらってやさしいなとも感じました。

◆Dさん

私は、今回の洋上体験研修に参加して良かったことがたくさんあります。1つ目は、体調がわるくなかったときみんなで助け合って良かったです。2つ目は、フェスティバルでみんな自分の意見を出して良かった。だが、フェスティバルやウォークラリーでは準備がおそくなってしまったり、道を間違え、ちか道をしてしまったりしてよくないかもって思

つてしましました。もしも、また洋上体験に参加したらこのようないけいんをみなおしてまた行けたらいいと思います。

◆Eさん

さいしょはきんちょうしていたけど、みんなと仲よくしたら楽しくなっていて一日目は風がすごく強くて自分も船よいてしまいかけこうきちかったけど、新島にじょうりくしたときはなんかひさびさなかんじがしました。二日目は、新島に上陸して、ウォークラリーはぼくがちゅうしんとしてやっていきました。海水浴もたのしかったです。夜の洋上フェスティバルはまさか、3位をとれるとは思っていなかったです。けどいい思いでになりました。三日目は、おきたときはもう、静岡でした。「もうおわりか」と思いました。学んだことは、船よいはこんなにきついことと、いろんなことがされました。いろいろあったけど、先生たちありがとうございました。



◆Fさん

今回の洋上体験研修で感じた学んだことはゆれがはげしくまっすぐあるくこともままならなく最初は不安でしたが他の研修生が話してくれて自分が思ったより楽しい洋上体験ができました。そして学んだことは船の上ではあるくのもままならなく上に上れば上がるほどようそうです。自分はあまりよいませんでした。そして船員は朝にねたりして船のそうじゅうをしたりしていました。来年もまた望星丸にのりたいと思いました。

◆Gさん

ウォークラリーをしながら新島をまわりながら人々の生活を見られたりし、クイズで新島のことを知れていい勉強になったと思います。海があらくて船が大きくゆれ少しきもちわるくなったりしたけど友達と「ワイワイ」楽しんで活動できて楽しかった。さいしょの事前研修に行ったとき、知ってる人もいたけどいろんな中学からきた人たちがたくさんいてきんちょうしたけど班でスタンツのことを話しているうちに仲良くなり班の人や部屋の人、その他の人とも仲良くなれて、3日間を楽しく生活することができた。望星丸は旅客調査船という調査と乗客を乗せることができるという一つだけの船だと分かりきょうな船だと思いました。来年も参加してたくさんの友達をつくりたいです。



【6班】

◆Aさん

まず、他校生と交流することができよかったです。それぞれみんな自分の学校について話した時、僕のいる学校と違う所が多くあって話していてすごくおもしろかったです。ウォークラリーでチェックポイントでの問題のおかげで、モヤイ像についてとかほかにも様々な事を知ることができました。あと、船よいをなめてました。初日で船に乗って数分たった後、頭がぐわんぐわん震れてとにかく気持悪かったです。ですが、班のメンバーや友達、先生達の「大丈夫?」や「無理しないで休みな」という言葉に何度も助けられました。洋上フェスティバルに関しては、正直あまりうまくできましたが、みんなあきらめず今できる限り出せる全力でみんな頑張ってくれて、フェスティバルの後、みんな「しょうがない」や「まあ楽しかった」「できる限りのこととした」とマイナスな言葉が出てこなかったことがなによりうれしかったです。



◆Bさん

私は、この研修に参加して色々な事を知りました。1つ目は、船よいがやばいことだということです。私は車ではよわないほうなのでよいどめはのんでいましたが正直よわないなどと思っていました。ですが船の想像以上のゆれでようまではいかなくても気持ちわるかったです。2つ目は、自分が船より飛行機のほうが好きだということです。私はよったこともあり、もし船か飛行機を選べと言われたら高いかくりつで飛行機をえらぶと思います。もし来年も行くならふなよいに一番気をつけたいです。

◆Cさん

何があるか分からないのでいちょうでも良いのでそなえとく。ゆだんをしない。しっかり見おとしなどのないよう1つ1つ確認しながら取り組む。海の中に少し、砂浜などにもゴミが少し落ちていたのでSDGsだと環境の事も考えながら、海に入ったり生活して行きたいと、思いました。ちずの見方など覚えてみる。知らない人たちはっかだけしかりなどできてよかったです。天候により、げきなどがや



りづらかったため、ある程度そうゆう事も考えて行動したいなと思った。あまりグループからはなれたり、どうろに出ないようにしたい。フェスティバルで逆光と、風の間だいでやりづらかったので、そうゆうのも考えたうえでれんしゅうなどしようと思った。モヤイ像はあらためてモアイ像にてるなって思いました。フェスで、天候の問題を考えてしっかり内容を理かいし、取り組む。

◆Dさん

学んだこと。ふねが88mだってこと。きれいな石のみつけかた。ちずのよみかた。感じたこと。風がつよい。すずしい。さいしょの30分をがまんすれば、あのふなよいはだいじょうぶ。とてもたのしかった。

◆Eさん

今回、洋上体験研修に参加して、学んだことが2つあります。1つ目は、船酔いです。私は車でも、電車でもすぐ酔ってしまうので、船酔いがとても心配でした。実際、船に乗ってみたら、やっぱり酔いました。想像以上に酔ったので、死にそうでした。船は、座っていると、酔いやすいことが分かりました。逆に、立っていたり、寝たりしていた方が、酔いにくいことが分かりました。これを生かして、車の中では寝っころがる、電車の中では立つ、というように、いつでも酔いにくい体勢を探しながら生活したいと思いました。2つ目は、他校との交流です。洋上体験研修に行く前は、友達は作れないと思いました。私は、友達を作るのが苦手で、自分からはなしかけたりすることはできないと思っていました。けれど、あっちから、はなしかけてくれて、すぐ友達が出来ました。そして、友達と協力しあいながら行動しました。これからは、友達を作るとき、とにかくはなしかける、はなしを合わせるなどして、友達をたくさん作り、行動するときは、友達と協力して行動しようと思いました。来年もい洋上体験研修に参加して、船酔いに気を付けながら、生活したいと思いました。そして、友達を作り、いっしょに協力して行動する。精一杯楽しむ。この3つを大切にしながら、来年も洋上体験研修に参加したいなと思いました。



◆Fさん

私はこの研修で人との仲をふかめるためには、話すだけでなくずっと過ごしてそこから仲がふかまると考えました。また多少の動物を知っているだけでは、まだ解明されていない魚がいると感じた。楽しむことはできただけど、反省点も多くありました。例えばウォ-

クラリーの時に列がくずれてしまったり、フェスティバルの時に、げきが詰まってしまうなどの反省点がありました。

◆Gさん

今回の洋上研修をいかしていろいろなことをまなびました。とくに、船酔いがすごかった。あとみんながやさしくてすぐなかよくなりました。来年も行きたいです。



【7班】

◆Aさん

最初は、船酔いの人たちが半分、生き残ってる人でもちょっと酔ってるという人たちが半分と、全然班のみんなで活動できなかったです。一時期班の中で1人になるということがあったので、さびしかったし、なんで酔い止めバスの中で飲まなかつたんだよ！！という怒りの気持ちがありました。だけど、2日目では、1人も欠けずに活動できてよかったです。船上のフェスティバルでは、7班だけ〇×クイズでその他では演技をしていて、しかも一番最後に発表だから大丈夫かな…？と思っていましたが、無事終わって特別賞を取って、クリスタルもらえて気分爆上がりでした。その後、部屋で10人くらいいとカードゲームをして盛り上りました。3日目では、ブタメンの容器を海中に沈めて小さくしました。私の子はとても小さくきれいな形の子に育ちました。かわいいです。



◆Bさん

昨年も洋上体験研修に行ったのですが今年の夏のとても良い思い出になり楽しかったです。さらに副班長ながら班長や班をまとめることができてとてもうれしかったです。やはり最初の時は周りが全然知らない人ばかりで中々仲良くできなかつたのですが研修を通してみんなの仲が良くなり洋上フェスティバルも特別賞を取ることができました。自分の目標、目的がみんなと仲良くすることだったのでとても良い思い出になりました。しかし他にも圈外になつたり温泉に行けなくなつたりの色々なアクシデントが起きてしまつ良い経験になりました。このことから自分はいつもとても恵まれているんだなと感じました。この経験を今後の人生に活かしていきたいと思います。今回の洋上体験研修を支えてください本当にありがとうございました。一生忘れません。

◆Cさん

今回の洋上体験研修に参加して、同じえい画やみたことあるYoutubeにててきたやつなどで、はなせてよかったです。みんなと仲良くなれてよかったです。けんしゅうで海についてやるのがたのしみだし、海水よくたのしかったし、洋上フェスティバルもみんなのがおもしろかったから、船がゆれなかつたらまたきたいし、みんなとあえてよかったです。またきたいです。きんきゅうじたいで、いくことがなくて本当によかったです。またきたいです。

◆Dさん

モヤイなど歴史や名物を学べた。船のつくりなどが学べた。でも、船の揺れが強くてし

よっちゅう気持ち悪くなってしまった。船のりの大変さがよく分かった。海がとてもきれいだった。星空がとてもきれいだった。ブタメンの容器をしづめたらとても小さくなって、かわいかった。いろいろな体験ができて楽しかった。

◆Eさん

私は、今回の洋上体験研修に参加して、自然のすごさを感じました。具体的には、1日目は船酔いで気分が悪くなり、2日目は風がとても強くて海に入っていると流されました。こんなに大きく、重い船をゆらすことができることに感動しました。また、私の目標は「他校の人とのコミュニケーションをとる」だったのですが、食事の片付けや部屋で交流することができ、目標が達成できたと考えています。洋上フェスティバルでは、仲間と全力で楽しむことができました。特別賞を取ることができて、嬉しかったです。



◆Fさん

今回の洋上体験に参加してみて他の学校の人たちと交流するのがとても楽しかったです。初日は波があらくて船よいがきつかったけど友達がすぐに気づいてくれて保健室につれていってくれたり声かけをしてくれたりしてうれしかったです。洋上フェスティバルのはん内かいぎで協力して内容を考えて楽しくできたのがよかったです。特別賞をもらうことができてよかったです。最初は親にすすめられて洋上体験に参加したのであまり乗り気ではなかったけど参加してみると洋上フェスティバルや星空かんそくなどふだんできない体験がたくさんあって楽しかったのでまた参加したいと思いました。

◆Gさん

初めは、知らない人と交流することに不安を感じていましたが、皆明るい人達ばかりで他の学生との交流や、自分の目標の「皆と仲良くなる」をたっせいできたと思いました。船が思っていたより大きくゆれていたため船の上で生活する人の大変さを身をもって体験しました。しおりや毎度毎度説明があったのでスムーズに動けました。船の中になんでもあったので、不自由なく生活できることにおどろきました。また次のきかいがあったらさんかしたいと思いました。

◆Hさん

学んだこと。新島の歴史や文化。他学年、他学校と交流する良さ。初めて会ってからあ

まり時間がたってないのに協力できるところ。ブタメンの容器を水深1000mに降ろすとどうなるか。感じたこと（思ったこと）。最初は船酔いで大変だったけど、2日目には船酔いに慣れて良かったです。洋上フェスティバルで3位以内になることはできなかったけど、特別賞をとることができてうれしかったです。



【8班】

◆Aさん

今回の洋上体験は前とはすこしちがい、少しハプニングが多かったですが楽しく、仲がいい友達と行っているんな話をしたりして、いろんな事ができました。海の上の生活はしんせんで、いつしてもあきないのでもうすこしでも長くいたいと思ってしまうほどでした。次は高1になってしまふので行けませんが次があつたらまた行きたいほどでした

◆Bさん

私は、今回の洋上体験研修に参加して、他校の人達と積極的に話し、交流を深めました。今まで私は、他校の人にあんまり話しかける事は出来なかつたんですが、参加してからは、班の人や部屋の人とすごく話せました。また、船が波でゆれている中、普段乗り物酔いをしない私でも、1日目の午前中は少し酔いましたが、船員さんはみんながまるで何も感じていないような表情だったから、とてもすごいと思いました。なので、また来年も参加したいと思います。



◆Cさん

今回の洋上体験研修に参加して、自分はたくさんのこと学びました。船に乗るのは人生で初めてだったので、船酔いのことなどはあまり気にしていませんでしたが、実際に乗ってみると船酔いがひどく、1日目はとても苦労しました。この船酔いは人生で初めて経験しました。また、今回の洋上研修で自分から人に関わりに行くことの大切さを学びました。7月12日にいった事前学習の時は周りに知り合いの人がほとんどいなかったので、あまり班の人と会話しませんでした。ですが、8月5日からはなるべく自分からしゃべりかけるようにしました。そうすることで、班の人達と過ごす時間はとても楽しい時間になりました。今回の洋上研修はとても良い経験になりました。また来年も行きたいです。



◆Dさん

ぼくはこの洋上体験研修を通して海のおそろしさ楽しさおもしろさをかんじました。おそろしいと思った所は行きの船の時でした。上下左右にゆれてビックリしました。楽しさを感じた点は急に船がゆれたりして楽しかったです。おもしろかった所は海水浴の時です。

向かってくるなみの方が大きいのになぜかどんどん海に引きよせられるところです。でもおそろしい所でもありました。また行くきかいがあればいきたいです。

◆Eさん

今回の洋上体験研修を通して、他の市町村と交流して楽しかったし、船や自然の大変さがわかった。事前研修では班の人たちとぎこちなかったけれど、班のメンバーとも、他の班の人とも少しずつ仲良くなれて、とても楽しく、そして船に乗っていると波の関係で船が沢山揺れて船酔いがしてとても辛くて、船に乗る大変さがわかりました。船での海洋観測でメンのカップがつぶれるなど色々なことがありました。



◆Fさん

おみやげのぶっかがとてもたかい。うみの水がおもったよりしょっぱかった。1日目のときにみんなとてもふなよいになっていてこわかった。1日目のおひるごはんがとてもしつぞだった。みんなとしっかりなかよくできてとてもよかったです。なしたりあそんだりしてとてもたのしかった。洋上たいけんとてもたのしかったです。ブタメンのカップがちいさくなってびっくりした。



◆Gさん

私は、初めての洋上体験を通して楽しかったこと、勉強になったことがあります。1つ目は、行きの船を案内してもらったことです。そこで一番きになった所を教えてほしいと言いました。そしたら優しく接してくれました。2番目楽しかったことは、ウォークラリーです。なぜかと言うと、みんなで力を合わせてウォークラリーをするのが楽しかったです。3番目は、海洋調査です。なぜかと言うと、私は、海や生き物が好きです。なので今日の海洋調査がとてもとてもわくわくしました。私は、来年、再来年もいきたいと思える洋上体験でした。



6 指導主任、指導担当の感想

◆指導主任



洋上体験研修の目的の一つに、「船上の集団生活を通じて交流と連携を深め、自主性・協調性・人を思いやる心を養う」とあります。洋上での研修という特別な体験には、自然とその目的が達成できる不思議な力があると思います。「事前研修」で見られていた緊張感も、大きな波に揺られ、一緒に食事をし、船の上で星空を見上げ、新島でウォークラリーをし、2泊3日の体験と共にしていく中で、いつの間にか距離が縮まり、子どもたち同士が仲間になっていました。自然に声を掛け合い、班で直面している課題を解決しようと、その時できる自分の役割を見つけ、行動する姿が随所に見られ、子どもたちの力と成長を感じることができました。

今回の参加者全員にそれぞれの成長があったと思います。この経験を生かして、今後多くの人たちと協働しながら様々な課題や荒波を乗り越え、豊かな人生を切り拓いてほしいと思います。

最後に、本研修に参加された研修生や実施にあたりご準備、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

◆1、2班 指導担当



洋上研修を通して、生徒たちの3日間の姿を見ていると、たくさんの仲間と交流すること協力することの大切さを感じました。

事前研修では、研修生同士の初顔合わせがあり、緊張や不安からとても表情が硬かったことを覚えています。様々な市町村から集まった中学生が2泊3日の生活を共にするということは、なかなか勇気のいるチャレンジだったかと思います。そんな中でも、（船内での生活、星空観察、ウォークラリー、海洋観測等）本研修でしか体験できない活動を通して、少しずつではありますが、グループ内の輪を感じられるようになりました。特に、洋上フェスティバルでは、生徒の皆さんのが短い時間の中で、スタンツを作り上げる難しさを感じながらも、一生懸命準備や練習に取り組んで楽しみながら発表する姿にとても感動いたしました。

最後に本研修を通して、生徒の皆さんのが自分自身の成長の糧として、中学校に戻った際に学んだことを生かして大きく成長してくれることを期待しています。自分自身もこの経験をもとに様々なことにチャレンジしていきたいと思いました。今回の事業に携わってくださったすべての皆様本当にありがとうございました。

◆3、4班 指導担当



今回の洋上体験研修では、2泊3日の船上生活という非日常の環境の中で、初めて出会った仲間たちと関わり合いながら生活する生徒たちの姿を見ることができました。限られた空間での共同生活や役割分担を通して、互いに協力し合い、困っている友だちに手を差し伸べるようになっていく姿に成長を感じました。特に「自分のことは自分で行う」という意識が高まり、時間を守り集団の中での役割を考える様子が印象的でした。最初は不安そうだった生徒たちも、日を追うごとに自信をつけ、最終日には達成感に満ちた笑顔を見ることができました。

帰港式では、船長さんや乗組員の方々への感謝を忘れず、帰りのバスでは「望星丸ありがとう」と船に声をかけるなど、心温まる場面もありました。

この研修は、子どもたちの自主性や協調性を育む貴重な機会であり、私自身にとっても学びの多い3日間となりました。今回の事業の運営に携わってくださった皆さま、本当にありがとうございました。

◆5、6班 指導担当



事前研修では、お互いの顔や名前も知らない中、硬く緊張した面持ちのスタートでしたが、3日間の船上での生活を通して仲間と協力し自主的に行動する姿に、子どもたちの大きな成長を感じました。船内や新島で過ごした2泊3日の集団生活では、新島探索や星空観測、海水浴や海洋観測など普段の生活では体験できない学びや発見が多くありました。私自身も子どもたち以上に全力で楽しみ、貴重な体験をすることができました。

特に、洋上フェスティバルでは、スタンツ発表に向けて寸劇の構成や準備、衣装づくりなど班長を中心に話し合いをし、何度もリハーサルをする姿がとても一生懸命でした。見ていて笑いや感動を与える子どもたちの偉大さを実感しました。この研修で得た経験を今後の人生に生かしてもらえると幸いです。

望星丸乗組員の方をはじめとする東海大学、各市町村の関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

◆7班 指導担当



洋上研修では、子どもたちの成長を間近で見て感じることができました。事前研修の際で、不安そうにしていた子どもたちも、班での活動や船上での生活を通して、仲間と協力し合う姿勢が自然と身についていきました。特にウォークラリーやスタンツの準備では、最初は意見を出すことにためらっていた子が自ら発言するようになったり、友達の考えを受け入れたりする姿が見られ、大きな成長を感じました。

また、班の雰囲気が次第に明るくなり、班での会話や笑顔が増えていったことも強く印象に残っています。さらに、海洋観測や新島での自然体験を通して、子どもたちが新しいことに挑戦し、自信を深めていく様子はとても頼もしく感じました。短い研修の中で、互いを理解し合い、協力して行動する力を育むことができたのは大きな成果だと思います。

船上での生活や様々な場所から集まったたくさんの人と関わった経験は、私自身にとっても大変貴重な経験となりました。運営に携わってくださった東海大学、各市町村の関係の皆様、本当にありがとうございました。

◆8班 指導担当



指導担当として二泊三日の間引率させていただきました。この洋上体験研修は私にとっても生徒にとっても一生心に残るものだったと強く感じています。学校教育の中では味わうことができない様々な体験を通して、楽しいという感情はもちろん、自然の過酷さや達成感などを感じてくれたと思います。市役所から清水港に向かうバスの中では少し緊張感があった班員も、船に乗るや否やまるで何年も一緒だったような雰囲気にまでなっており、本当に驚かされました。

普段学校で教えている清川村の生徒も見違えるように積極的に動き、楽しそうに仲間と交流する姿が見られました。小規模校などクラス替えが少ない学校の生徒にとって、普段の自分のキャラクターや立場のようなものに縛られず、のびのびと活動できるこの研修は非常に有意義なものだったと思います。

最後に、望星丸乗組員の方をはじめとした東海大学、実行委員及び関係者の皆様の御支援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

7 アンケート結果

※意見等は一部抜粋です。

※割合の合計は端数のため 100%にならないことがあります。

(1) 研修生へのアンケート（回答57人／57人）

Q1 この洋上体験研修を知ったきっかけは何ですか

1. チラシ 18人 (31.6%)	2. ホームページ 1人 (1.8%)	3. 公民館等のポスター 1人 (1.8%)
4. 市町村の広報誌 8人 (14.0%)	5. タウンニュース 1人 (1.8%)	6. 保護者から 12人 (21.1%)
7. 以前の参加者から 7人 (12.3%)	8. その他 9人 (15.8%)	

※「8. その他」の意見

- ・友達に誘われた
- ・学校からのプリント
- ・姉から勧められた

Q2 研修に参加した理由は何ですか

1. 船に乗りたかった 6人 (10.5%)	2. 新島へ 行ってみたかった 6人 (10.5%)	3. 他校生との交流を したかった 18人 (31.6%)
4. 自分が成長できると 思ったから 5人 (8.8%)	5. 友達が参加するから 11人 (19.3%)	6. 親や先生から 勧められたから 5人 (8.8%)
7. その他 6人 (10.5%)		

※「7. その他」の意見

- ・楽しそうだと思ったから。
- ・貴重な経験ができるから。
- ・去年も参加したから。
- ・前行ったのが楽しかったから。
- ・去年参加した友達から聞いて楽しそうだったから。
- ・好きな先生がいたから。

Q3 事前研修の時期はいつが良いですか

1. 平日 18人 (31.6%)	2. 土・日曜又は祝日 18人 (31.6%)	3. いつでも良い 21人 (36.8%)
----------------------	----------------------------	--------------------------

※「1. 平日」の意見

- ・予定が空いているから。
- ・部活がないから。
- ・おやすみの日にあるから。

※「2. 土・日曜又は祝日」の意見

- ・平日は、部活や習い事等用事があるから。
- ・平日は学校や塾があるから。
- ・平日はいそがしい。

※「3. いつでも良い」の意見

- ・なるべく部活とかぶらないでほしい。今と同じでいい。
- ・だめな日が決まっていないから。
- ・どこでもとくに変わらない。

Q4 本研修の時期はいつが良いですか

1. 7月下旬 17人 (29.8%)	2. 8月上旬 30人 (52.6%)	3. 8月中旬 10人 (17.5%)
------------------------	------------------------	------------------------

※「1. 7月下旬」の意見

- ・とにかく的すずしいから。・部活や塾が忙しいから。

・しゅくだいを後にまわせる。

※「2. 8月上旬」の意見

- ・夏休みの初めと終わりはしっかり休みたいから。

・海水浴にちょうどいい季節だと思うから。

・おぼんより前だから、その後の宿題がしやすい。

※「3. 8月中旬」の意見

- ・暑いのになれたいから。・楽しみは最後がいい。

・準備の時間がもう少しほしかったから。

Q5 本研修の2泊3日という期間はどうですか

1. 長い 3人 (5.3%)	2. ちょうどよい 27人 (47.4%)	3. 短い 25人 (43.9%)
--------------------	--------------------------	----------------------

※無回答 2人 (3.5%)

Q6 本研修で一番楽しかったことは何ですか

1. 船上生活 6人 (10.5%)	2. 他校生との交流 24人 (42.1%)	3. 星空観察 1人 (1.8%)
4. ウォークラリー 4人 (7.0%)	5. 海水浴 10人 (17.5%)	6. 洋上フェスティバル 10人 (17.5%)
7. 海洋観測 1人 (1.8%)	8. その他 0人 (0.0%)	

※無回答 1人 (1.8%)

Q7 本研修期間中、つらかったことはありますか（プログラム内容、船酔いなど）

1. ない 14人 (24.6%)	2. ある 43人 (75.4%)
----------------------	----------------------

※「2. ある」の意見

- ・船酔い（同意見多数）

・初対面の人と意見を合わせるのが辛かった。

・友達といけんが食いちがったときにしようとつしてしまうこと

Q8 研修に参加して、自分自身が変わったと思いますか

1. 変わらない 16人 (28.1%)	2. 変わった 40人 (70.2%)
-------------------------	------------------------

※無回答 1人 (1.8%)

※「2. 変わった」の意見

- ・海についてもっと知りたくなって船にも興味が出た。

・周りを見ながら行動することが出来るようになった。

・知らない人とのコミュニケーションが少し得意になった。

・せっきょく的に話せるようになった！気がする。

Q9 他の学校や他の市町村の中学生との交流はどうでしたか

1. 良かった 52人 (91.2%)	2. 嫌だった 1人 (1.8%)	3. どちらでもない 4人 (7.0%)
------------------------	----------------------	-------------------------

Q10 チャンスがあれば、また洋上体験研修に参加したいですか

1. 参加したい 41人 (71.9%)	2. 参加したくない 0人 (0.0%)	3. わからない 16人 (28.1%)
-------------------------	-------------------------	-------------------------

Q11 今回のプログラム以外にやってみたいこと、知りたいことはありますか

- ※自由意見
- ・釣り
 - ・シュノーケリング
 - ・新島でねる
 - ・もっと望星丸クイズ
 - ・船のことをもっと知りたい
 - ・他の船で他の島に行ってみたい
 - ・魚の観察
 - ・ごはん作り
 - ・もう少し自由時間がほしい

(2) 研修生の保護者へのアンケート（回答52人／57人）

Q1 この事業を知ったきっかけは何ですか

1. 子どもから 14人 (26.9%)	2. 友達の保護者から 4人 (7.7%)	3. 以前の参加者（の保護者）から 3人 (5.8%)
4. 学校（先生）から 19人 (36.5%)	5. PTA 総会のチラシ 1人 (1.9%)	6. ホームページから 2人 (3.8%)
7. 公民館等のポスター 2人 (3.8%)	8. 市町村の広報誌 2人 (3.8%)	9. タウンニュース等 タウン誌 2人 (3.8%)
10. その他 3人 (5.8%)		

※「10. その他」の意見

- ・昨年度も参加したので知っていた。
- ・1（子どもから）と4（学校（先生）から）
- ・6（ホームページから）と8（市町村の広報誌）

Q2 この研修に申し込んだ理由は何ですか

1. 参加者本人の希望 35人 (67.3%)	2. 保護者から勧めた 16人 (30.8%)	3. その他 1人 (1.9%)
----------------------------	----------------------------	---------------------

※「3. その他」の意見

- ・お友達に誘われ本人にも確認して行かせることにした。

Q3 参加者負担金（23,000円）はどうですか

1. 相応だと思う 39人 (79.6%)	2. 高い 0人 (0.0%)	3. 安い 10人 (19.2%)	4. 無回答 3人 (5.8%)
--------------------------	--------------------	----------------------	---------------------

※「1. 相応だと思う」の意見

- ・バスをチャーターし、大学の実習船を出してもらう、
- ・色々な学び、食事代、2泊分のあれこれ、各種保険等考えれば妥当。

- ・二泊三日、子どもを預かってもらい研修させていた
だく事を考えると相応だと思います。
- ・3万円をこえると予算的に厳しい。

- ※「3. 安い」の意見
- ・宿泊、移動、食事、研修内容など考えても、とても安いと
思う。何より船に泊まれる貴重な経験はなかなか出来ませ
ん。
 - ・家庭で行こうと思ったら絶対そのお値段では行けないと
思うからです。

Q4 事前研修の時期はいつが良いですか

1. 平日	2. 土・日曜又は祝日	3. いつでも良い
10人 (19.2%)	24人 (46.2%)	18人 (34.6%)

※「1. 平日」の意見

- ・部活のイベントや試合と重なる。
- ・土日に塾を入れる事がが多いので。

※「2. 土・日曜又は祝日」の意見

- ・中学生が平日に学校以外の予定で時間を見る
のはなかなか難しい。
- ・土日の方が本人も家族も時間にゆとりがある。
- ・仕事が休みなので確実に送迎しやすい。

※「3. いつでも良い」の意見

- ・前もって日時が分かっていれば予定を合わせ
られるから。
- ・他の行事とできるだけ離してほしい。

Q5 本研修の時期はいつが良いですか

1. 7月下旬	2. 8月上旬	3. 8月中旬
11人 (21.2%)	33人 (63.5%)	2人 (3.8%)

※無回答 6人 (11.5%)

※「1. 7月下旬」の意見

- ・天候が安定している。
- ・8月は村のお祭りなどでバタバタしました。
- ・夏休みに入ってまもなく、リズムが整っているため。

※「2. 8月上旬」の意見

- ・7月下旬まで梅雨の年もあり8月中旬はお盆。
- ・荷造りや事前準備をするには7月下旬だと厳しい。
8月中旬は帰省もあるので避けたい。
- ・7月下旬は学校のセミナー、8月中旬はお盆のため。
- ・7月下旬は部活動などの予定が活発であり、8月中旬
だとお盆の時期で家庭の用事が入りがちなので、生活
リズムが落ち着いてきた8月上旬がちょうど良い。
- ・8月上旬（現行）が最適だと思います。

※「3. 8月中旬」の意見

- ・部活の大会と被らなそうだから。

Q6 この研修は、台風などの天候によって目的地新島に渡航できない場合、今回のように代替スケジュールを実施しています。この対応について、どう考えますか。

1. 新島への渡航ができないのであれば、中止すべき	2. 代替スケジュールで実施すべき
1人 (1.9%)	43人 (82.7%)
3. どちらともいえない	4. その他
4人 (7.7%)	4人 (7.7%)

※「1. 新島への渡航ができないのであれば、中止すべき」の意見

- ・悪天候の場合は命を守る観点から実施しないほうが良いのではないかと思います。

※「2. 代替スケジュールで実施すべき」の意見

- ・新島上陸が目的ではなく、あくまでも実習船における洋上体験なので、船酔いも含めて、船を楽しんでほしいから。
- ・親と離れて普段あまり仲良くなる機会がない町村の子どもたちと過ごせる貴重な機会なので、代替スケジュールであっても良い経験ができると思う。
- ・代替スケジュールも良く練られていると思いましたので現状の対応で良いと思います。そのためには、天候や海洋状況にシビアな研修であることを参加者も保護者も事前に重々承知しておく必要があると思います。
- ・自然相手には思う通りにならないことを含めて体験させた方が良いと思います。

※「3. どちらともいえない」の意見

- ・昨今は想定以上の大雨など発生するため、ある程度の代替スケジュールはあるべきだがあまり厳密でなくても良いと思う。
- ・中止にした方が良いと思うが、本人達は代替でも楽しめそう。

※「4. その他」の意見

- ・子どもたちの安全を考えての予定作成をしてくれていると思います。
- ・予備日を設定。安全を考慮してどうにか新島渡航を遂行すべき。

Q7 他の市町村の中学生と交流したことについて

1. 良かった	2. 良くなかった	3. どちらでもない
51人 (98.1%)	0人 (0.0%)	1人 (1.9%)

※「1. 良かった」の意見

- ・初対面の学生同士が、洋上研修という特別な体験をする事で仲間意識が芽生え、協力、協調する大切さを学べる事が素晴らしいと思います。
- ・たくさんの新しい友達と一生忘れられない思い出ができた。
- ・地域を越えた友人ができたようで良いと思う。・友人の輪が広がった。

Q8 この研修に参加して、お子さんの態度や考え方が変わったと思いますか

1. 変わった	2. 変わらない
26人 (50.0%)	25人 (48.1%)

※無回答 1人 (1.9%)

※「1. 変わった」の意見

- ・スマートフォンが使えなくても全然大丈夫になった。
- ・人前で何かをする自信につながった。自信が持てる様になったと思う。
- ・視野が広がり、明るくなった。
- ・積極的になったような気がする。
- ・本人に気付きもあったので、考えさせられた様子です。
- ・反抗期で人の話を軽んじている面もありましたが、耳を傾ける姿勢に変わったと思います。家の手伝いも自主性が高まったと感じます。
- ・新島の天気が気になり、天気予報なども毎日気にしてみている。星も気になるようでやっぱり海の上のほうがすごくよく見えるといつも言っています。
- ・海への関心が深まった。

※「2. 変わらない」の意見

- ・残念ながら特に変化を感じなかった。
- ・2泊3日で明確な変化までは現れていない。
- ・考え方には変化はなかったが、よい体験をしたようです。
- ・特に変化はなかったが、他校の生徒と楽しく過ごせていたようで、良かった。
- ・変わったと感じないですが、知らないところで何か成長があるかもしれない。
- ・親から見えている姿は変わらないように思える。
- ・すぐには変わらないと思います。が、考え方も変わってくると思っています。

Q9 お子さんをこの研修に参加させて良かったと思いますか

1. 良かった	2. 良くなかった	3. どちらでもない
50人 (96.2%)	0人 (0.0%)	2人 (3.8%)

※「1. 良かった」の意見

- ・他ではできない体験をさせていただき、成長を感じたから。
- ・親から離れ、初めて出会う人達とコミュニケーションを取り活動でき、よかったです。
- ・星空や露天風呂など一生の思い出になりそうです。
- ・皆で協力することやその努力の結果が報われることに対して喜びを得られたと思う。
- ・東海大の学生とも交流できて、将来に対する新たな知見が増えた（こんな仕事もあるんだなど）。
- ・またチャンスがあれば参加したいそうです。弟にも勧めていました。
- ・本人なりに多くのことを吸収できたようです。研修の様子をいきいきと楽しそうに笑顔で話してくれたことが物語っています。
- ・初めて会う人に話しかけるので苦手な方でしたが、他校の子と2泊3日過ごして友達もできて、少し自信もついて、とても良い経験になりました。

※「3. どちらでもない」の意見

- ・参加してショックがあったようで、参加しなければ楽しい用事もあったと思うので。（あまりなじめなかつたようで、本人の気付きがあったようです。）

Q10 自由意見

※本事業の継続を望むご意見や、スタッフへの心温まるお言葉を多数いただきましたが、一部割愛させていただきました。ありがとうございました。

- ◆ 親元を離れ、集団生活の中で主体性、自主性を身に付けてほしかった。一日目に船酔いが激しく苦しい思いをしたようですが、医務室での対応も一つの大きな思い出となってい るようで、つらかった事も含め体験の全てが学びだったように思います。色々と御苦労も あります。ありがとうございますこの貴重で壮大な企画を開催くださり心より感謝してお ります。ありがとうございました。
- ◆ 帰ってきてからも船酔いまではいかないものの、海の上にいるようだと言っていました。陸にいる時間を少し増やすとか、宿泊を1日は陸にするとか、船酔い対策はあっても いいかなと思いました。色々な経験をさせたかったので、洋上体験は良い経験をさせても らったなと感謝しております。イベントの話など楽しそうに話してくれました。また行き たいと言っていたので継続を希望します。
- ◆ 親から離れ、初めて出会う人、場所で過ごし、さまざまな事を体験してほしいと思い、 母（私）の勧めで参加させました。不安やストレスもあったようですし、一番は船酔いが 辛かったようでしたが、様々な体験ができ、どれも必要な事だと感じます。思うようにな らない事からの学びや初めて見聞きする事から、子どもの視点で学び、感じてほしいと思 いました。船上でのスタンツで、よい結果を出せた事など嬉しそうに話してくれました。 船酔いが辛かったようなので、予算があればもう1泊増やし、1泊は島で泊まれたらよい のでは…と思いました。大変お世話になりました。ありがとうございました。この機会に感謝し ています。
- ◆ 今、通っている中学校の友人だけでなく、他の市町村の方との交流を通じて、自分（子 ドも）の考え方や感じ方に変化があると良いなと思い、参加を勧めました。
- ◆ 他校のお友達ができてとても楽しかったと言っています。参加するまでは少し緊張して いましたが、帰ってくるとまた参加したいと言っていました。
- ◆ 他校の生徒とのふれあいに、子どもたちだけでの生活。どれも子どもたちにとって新鮮 で一生の思い出になったと思います。普段あまり海洋に興味がなかったようですが、今回 色々と学び、楽しかったようで、来年の参加も希望していました。今回は友人に誘われて 参加したのですが、イベントのお知らせの仕方をもう少し工夫していただいてもっとこう いうイベントがあることを色々な人が知ることができたら良いのになと思いました。
- ◆ 洋上体験研修に参加させていただきました。本人の話では、船酔いで少々苦労したようですが、大変楽しく、貴重な体験だったと聞いております。学校 生活では友達への気遣いがとても良く先生方から厚い信頼がありますが、交流の少ない仲 間とではどうなるのか、また決断力や判断力が弱いところがあるため、自らの力で当研修 を乗り越えることができるのか、そんな思いを期待して参加させていただきました。結果、 準備の段階で少々サポートをしましたが、予想を越える段取りと当日はウォークラリーや フェスティバルで表彰いただいたと報告を受け、大いに期待を上回る結果に親として満足 している所存です。当研修は、多くの方のご支援で成り立っており、非常に苦慮されてい るかと思いますが、今後も継続し、子どもたちの輝かしい笑顔を見続けられるよう御尽力 ください。誠にありがとうございました。
- ◆ 大学が所有する海洋調査研修船に乗る経験は、大人になってからもなかなかないので、 多感な時期に知らない同世代の子と交流しながら船上の生活体験や調査活動について知 ることができ、今後に生きる大切な経験となりました。大学と連携したこのような事業が あると、親としては嬉しく思います。
- ◆ 昨年に続いての参加でしたが、昨年、同じように参加していた他の市町村の友達と再会 できたようで嬉しそうに話していた。船酔いは辛すぎて、心が折れそう（笑）になったと 言っていたが、それも良い経験の1つだと親として思う。辛い時にどう自分が動くか考え たり行動に移せたかな？と気になりますが、本人なりに乗り越えられたことは成長だと思 う。昨年参加していたので少し余裕を持ってのぞめたことで、少し積極的に行動できてい

たら嬉しいなと思う。研修の様子、子どもの姿を実際に見られないのでなんとも言えないが、本人は「頑張れた」と言っているので良かった。実行委員の方々には大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。とても素敵な研修は続いてほしいなと思います。ありがとうございました。

- ◆ 今回2回目の参加で、前回とても楽しかったと申しておりました。本人自ら参加したいと要望してきたので申し込みました。同じ班の友達と仲良く行動し、刺激になったようです。異学年同士でも遊びの約束をしたり、仲良くなつたようです。できるだけ積極的な行動ができるようになることを期待して参加を申し込んだので、期待通りで満足できました。ありがとうございました。
- ◆ とても貴重な経験だと思う。物価高騰で参加費が上昇しても絶対に継続すべき事業だと思う。
- ◆ 学校で座って授業を受ける以外にも、いろいろな体験を通した学びをしてほしくて参加を勧めました。初対面でも協力し合うことや、コミュニケーション面などで人間的に成長するきっかけになるのではないかと期待しました。帰宅した娘は、少しだけ自分がついたようで、同じような研修があればまた参加したいと話してくれました。弟はその話を聞いて、中学生になったら自分も参加したいと胸を膨らませていました。
- ◆ 子どもが幼児のころからポスター等を見かけていて、この研修が気になっていました。家庭や中学校では用意できない内容だったので、子どもの学びや成長の一助になるのではと期待し、小学校高学年からチラシを見せて興味を持たせてみました。幸い、本人は船酔い体質でもなく、人見知りな性格でもない上、海が好きだったので参加には前向きでした。ただし、年頃のためか、友達が参加できないのは心細いようでした。しかし、いざ蓋を開けてみると同じ中学校の人はいたようですし、何より他地域のお子さんと仲良くなる機会になり、楽しく参加できたようです。どんな環境でも楽しんで取り組む姿勢が身に付いたと思います。いつも同じ友達と一緒にいるよりも世界が広がったことに安心しています。また、水圧実験や離島での海水浴など海 자체にも親しむ機会が多い点でも、日常生活から視野が広がったと思います。さらに船酔いしない体質でも今回の強い波浪では酔うんだなど本人も自分が分かったようです。助けたり、助けられたり、協力し合ったという面を見ても、しおりに掲載されていた「目的」全てが達成できたと感じます。天候や海の状況によって臨機応変に対応していく今回の研修で、人生や生活においても状況が変わったら柔軟に対応していくことが必要なんだと分かってくれれば良いと思います。下の子どもも興味を持ってくれたので、海を通して広域の仲間とともに貴重な体験をする機会がぜひ今後も継続することを願っています。

要望1 持ち物の洗面、お風呂セットに「シャンプー、リンス、石鹼など」と追記希望。外泊を伴う外出はホテルに泊まりがちで備え付けられている場所がほとんどのため今回はうっかり忘れてしまいました。人に借りるのもまた勉強だとは思いましたが追記していただけますと助かります。

要望2 新島港のライブカメラ情報を追記希望。初日は強風・波浪でなかなか新島港に着かない様子が子どものGPSを通じて分かりました。太平洋上ではGPSも不安定で表示されない時間も多く、親心で不安がよぎりましたが、港ってライブカメラが設置されていることが多いよなと思い立ち、Youtubeを検索したら新島港にもあり、リアルタイムで配信していました。ちょうど接岸を何度も試みているところで見守りました。子どもが帰ってきた際にこの話をすると、「船員さんが接岸のためにすごく頑張っていたんだよ」「揺れがすごくて、しかも長くて、周りの子は早々にダウンしてた」「接岸直後、ついに耐え切れずに軽く吐いちゃった」などと話が盛り上がりしました。スケジュールが変更になることは念押しした上で、新島港のライブカメラ情報（もちろん清水港にもあれば清水港も）のURLをしおりに掲載すると保護者も安心したり、楽しめたり、年頃の子どもとも会話が弾んだりするのではないかと思いました。

以上、安全にも配慮された素晴らしい体験の機会を本当にありがとうございました。運営や引率に携わってくださった多くの方々へ厚く御礼申し上げます。

- ◆ 知らない人の中で研修を受けてもらいたかったが、同じ中学、同じ市の子が多く、結局

あまり変わらなかった。

- ◆ 家族旅行では絶対できない体験してもらいたくて応募しました。実習船の先生方や引率の先生方がとっても盛り上げ上手で、オープンな気持ちでアクティビティに参加できたようで、感謝しております。初めての環境で、初めて出会う人と、どう打ち解けていくのか経験てきて、良かったと思います。
- ◆ 普段の生活では体験できない東海大学調査研修船（望星丸）での生活・洋上の宿泊、湘南の海との違いや、友達以外の人との交流を体験してほしくて参加させました。すべてのことに対する興味を持ち、帰ってきてからも楽しそうに話してくれます。友達もできたようです。体験させて良かったです。船酔いは少し辛かった様子ですが、これも良い思い出になりました。波の高さにもびっくりしていました。こういう貴重な体験は今後も続けていただきたいです。（スタッフの皆さんお世話になりましたが…）
- ◆ 事前研修が夏の大会とかぶり少し困りました。普段、ケイタイばかりなので、ケイタイを使わないで1日過ごすことはすごくいいことだなと思いました。本人もすごくいい経験だったようで、とてもたのしそうにいろいろ話してくれました。来年も行きたいと言っていました。とてもいい経験をさせていただきありがとうございました。
- ◆ 普段できない経験をすることができる、新しい人間関係の中で様々な体験をすることができるとしても貴重な機会だと思います。知らない人と過ごしたり、コミュニケーションをとること今後の人生においても役に立つと思います。ありがとうございました。
- ◆ 夏休み時期での行事という事もあり、参加することへのハードルが比較的に低いと考えるが、事前説明会が部活の大会と重なり、参加出来ない子がいた。（自分の子供もそうであった。結果部活を休ませた。中学最後の試合と重複）（顔合わせ等、重要なことは理解しています）私は参加費は妥当であると考えているが、高いと考えている親も多いと思う。参加した本人も以前参加した子も良かったと言っているので、継続はなかなかハードルもあると思うが、個人的には継続してほしいと思います。お世話になりました。
- ◆ 親元を離れて、船で出かけるなんてなんとも贅沢な時間。船に乗ったことはあっても、船でご飯を食べたり、泊まったりすることは初めてのこと。こんな経験ができるなんて、本当にありがとうございました。
- ◆ 船に乗る機会が今までありませんでした。さらに他校の同級生と2泊3日で海などについて学びながら生活することはめったにある機会ではなかったので、参加させていただけてとても良かったです。本人もとても楽しかったのだと、口数が少ない年ごろだが、伝わってきました。この度は2泊3日間お世話になりました。
- ◆ この様な機会を設けていただき、ありがとうございました。また、来年も参加したいと言いました。海洋調査船に宿泊できる特別な事業を是非、今後も継続してほしいです。子ども達には興味の幅、人脈を広げて、将来につながれば良いと思っています。ありがとうございました。
- ◆ 今回の研修では、他自治体の中学生と交流し、新しい仲間を作る事ができました。協力し合う中で協調性の大切さを学び、普段できない洋上生活を体験できた事も大きな収穫でした。初対面の仲間とも積極的に関わり、自信を持てたように感じます。安心して参加させられる研修で、今後もぜひ続けていただきたいと思います。また、息子の班を担当してくださいました土井先生をはじめ、スタッフの皆様には、大変お世話になりました。息子が、とても親切にしていただいたと申しておりました。ありがとうございました。
- ◆ 普段経験したことないのでとてもいい経験ができましたし、娘にはいろんな世界を見て視野を広く見てほしいし、最近あまりやる気がなかったので少しでも気分転換にと思い参加させたところいろんな意味で前向きになって帰ってきたので（友達関係や人と関わることなどの価値感や考え方について）行かせて良かったと思いました。本人も来年も行きたい！！という意欲もわいてくれてわたしとしては嬉しく、来年も参加させたいと思いました。
- ◆ 船酔いが初日から最終日までひどかったにも関わらず、すごく楽しかった、また行きたいと言っていました。周りの方が優しく声をかけてくれたりしてくれてすごく嬉しかったようです。たくさんお友達もできたようでとても良い思い出になりました。また行きた

い、高校生も参加できたらいいなといっていました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

- ◆ 他地区の方との交流や洋上体験など日頃体験できないことを体験させていただきとても有意義な3日間だったと思います。年頃ゆえ多くは語りませんが帰宅時の表情を含め様子から本人も楽しかったことと想像できます。この時期に様々な経験を積むことは大事なことと実感しています。関わっていただいた皆様大変ありがとうございました。
- ◆ 子どもだけで船上で2泊3日過ごすことに、少し心配でしたが、本人が参加してみたい！と強く希望した為、了承しました。初対面の子たちともすぐ仲良くなれて、とても楽しかったと話していて、コミュニケーション能力がこの研修の中で高まったように思います。船酔いにかなり悩まされたようですが、水圧実験など、貴重な体験もできて、この研修に参加できて私も本人も良かったと思っています。
- ◆ 2泊3日ありがとうございました。事前研修のおかげで緊張することなく本研修に参加することが出来ました。天候に恵まれ海上に出られたこと、規則正しい集団生活を経験出来たこと、本当に良かったと思います。ただ、保護者向けの説明会がなかったこと、連絡先の記載はありましたか、本部と直接連絡を取ることが出来ないこと、どんな様子なのかHPで挙がる2枚の写真でしか知り得ないことに親としては不安がありました。研修なので子どもと連絡を取っても良いのかも分からず…。情報の共有等を出来るようしてもらえるといいのかなと思いました。
- ◆ 誰が参加しているか事前に分からない研修だったので、本人にとって挑戦だったので、事前研修後からポジティブに捉えていて、今回の挑戦がとてもよい機会になったと感じている。調査船で新島に行くというとても得がたい経験で充実した時間を過ごさせていただいたので、このような機会は是非続けてください、続く中学生にも経験して欲しいと思う。色々と御尽力いただき、ありがとうございました。
- ◆ 友人にさそわれ、なんとなく参加することになりました。海水浴と他校の中学生との交流が楽しみだったようです。親としては知らない人との交流、知らないことを楽しく学んで来ることを期待していました。船酔いが予想以上に辛かったようで、もう乗りたくないと言っていますが、友人も増え、各イベントも楽しんできたようで、船酔い体験も含めて良い経験になったと思います。昔に比べて集団行動の考え方があつゆいと感じるので、集団行動の大切さも学んできてくれたのではないかと思っています。今後も継続していただけます。将来、次女も参加させたいです。
- ◆ 中学生の時期にいろいろな経験をさせたいと考えているが、下の子が小さいため、なかなか家族で出かけるのが難しい。このような機会があるのは、ありがとうございます。
- ◆ 船上で2泊過ごすという経験はなかなか家族ではさせてあげられないでとても有難い研修だと思います。大学のオープンキャンパスでも味わえない、東海大の学生さん達の生の現場を見ることができ、将来のヒントを得る子も出てくると思います。他市町村のお子さんと、部活の試合などで会うことはあっても交流することは無いのでとても貴重な体験です。この時のメンバー数名でたばこ祭りに行くプランも計画中のようです。役場の皆様をはじめ、参加して下さった学校の先生、東海大の皆様、全ての方々に感謝致します。一生の想い出に残る体験を2回もさせて頂き本当にありがとうございました。
- ◆ 自立、自律を期待しての参加でした。酔い止めを飲んだけど酔ったということで、初日はつらかったようでしたが、次第に慣れたとのことでした。人のコミュニケーションで学びがあったということで、その点はよかったです。もっとこうだったらなっていう点としては、研究や観察の体験がもっとあると、海や島への学びがより深くなるかなと思いました。関係者の皆様、たくさんの準備とサポートをありがとうございました。
- ◆ 今後も続けていただければ幸いです。今回は、秦野市外からの参加でしたが、秦野市以外の町村への配慮ありがとうございました。船上泊や島での体験等、子供も帰ってから色々と話をしてくれました。普段はあまり話しをしない息子ですが、体験した事を楽しげに話していました。我が家家の潤滑油となり妻もよろこんでいました。ありがとうございました。
- ◆ 親から離れて宿泊に行ったのは修学旅行程度だったので不安もあったようですが楽し

いことばかりで行って良かったという事でした。こういった事業に障がい児も参加できたらありがたいなと思いました。（妹がそうなのですが兄をうらやましく思っていたので機会がないって気の毒だなあと思いました）今後そういう場があるとうれしいです。

- ◆ たくさんの中学生と交流させて頂き、とても感謝しております。娘は、とっても楽しみにして「洋上体験」の日を迎えるました。団体行動や同世代のお友達。全てが新鮮だったようです。船にも興味を持ちました。班長さんの役目を頂き、自主的に行動したり仲間と共に協力する喜びをたくさんお話ししてくれました。大学生の皆さんも優しくして下さり、ありがとうございました。娘の一生忘れない旅になりました。たくさんの方々のサポートに心より感謝申し上げます◎
- ◆ 研修では、他の市町の中学生と初めて出会い、ともに色々な感情を味わい、集団生活を送ることができました。三年生としての自覚を持ち、自分がすべきことを考え、行動・実行することができ、自分に自信が持てたようです。自主性・協調性・人を思いやる心を養うことができました。自宅で勉強しているだけでは得られない洋上体験ならではの貴重な体験・経験をさせていただき、ありがとうございました。とても楽しかったようで、「高校生になっても他校の人と交流できるこのような企画があったら嬉しいな。」と本人が言っていました。
- ◆ この事業に関わる全ての方々に心より感謝いたします。もともと、酔いやすい体質だったため、中1の時にも本人は行きたがりましたが、私が心配とご迷惑をおかけすると思い、断念させていました。理科、生きもの全般にとても興味のある、娘はどうしてもあきらめきれず、今年度の事業に参加したいと熱望し、参加させていただきました。実際、酔い等で皆様には沢山のご迷惑をおかけしてしまったと思い訳ない想いと、沢山の体験をした娘の満足した笑顔にとてもうれしい気持ちです。洋上フェスティバルの特別賞でいただいた「望星丸」の置物は娘の宝物となりました。そして、これから目標や興味をより多く心にふくれさせたと思います。本当にありがとうございました。
- ◆ 清川村で保育園から中学まで1クラス同じメンバーなので普段お互いに気心の知れた仲間としか生活していないので、他の学校の同世代の人と接する事の出来る貴重な体験でした。参加した本人も「友達も出来たし、行って良かった、来年も参加したい」と話していて、初めて会う人とも関係が築ける姿を見る事が出来、親としても嬉しく思っています。ありがとうございました。
- ◆ 親としては、とにかく色々な人と関わってほしいという思いがあったのと、海で色々なことを学べるのが楽しそう！と親子共々期待して参加させました。本人から「とても楽しかったのと、自分は思っている以上に知らない人（初めて会う人）ともコミュニケーションがとれるんだと思った」という感想が聞けました。2泊3日ありがとうございました。

資料

◆東海大学 海洋調査研修船「望星丸」概要

1 資格

遠洋、国際航海、旅客船(第一種船)、
(海洋調査練習船)

2 船級

NK: NS*MNS* Ice Class ID
Passenger/Training Ship

3 主な内容

ア 全長	87.98m
イ 垂線間長	75.00m
ウ 幅(型)	12.80m
エ 深さ(上甲板、型)	8.10m
オ 満載喫水	4.80m
カ 国際総トン数	2174 t
キ 登録総トン数	1777 t
ク 燃料油タンク	401m3
ケ 清水タンク	185m3
コ バラストタンク	345m3
サ 試運転最高速力	19.10 ノット
シ 航海速力	17.00 ノット



4 乗船定員

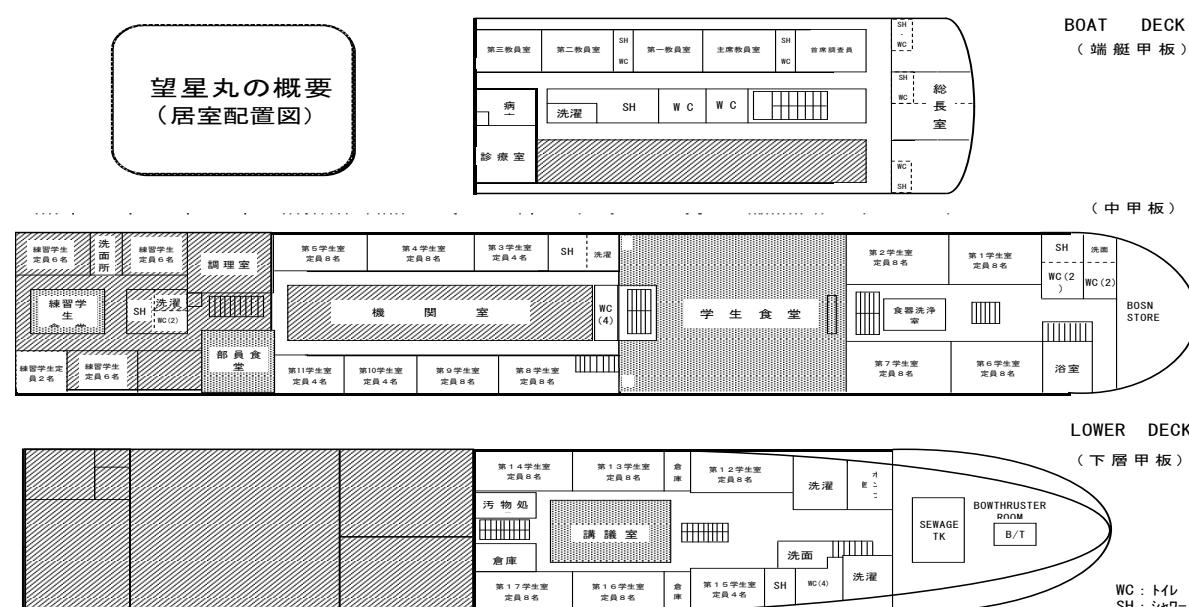
ア 乗組員	33名
イ 教員・調査員	17名
ウ 実習研修学生	120名
エ 練習学生	20名
計	190名(含乗組員)

海洋調査船「望星丸」は、海洋調査・研究のための機能及び教育・研究、そして国際レベルの知的交流にふさわしい設備を完備したインテリジェント・シップです。

東海大学海洋学部の海洋実習及び海洋調査・研究を行うほか、外部機関との海洋調査・研究・洋上体験航海などを行い、洋上の研究施設として活躍しています。

5 安全設備

ア 救命艇	部分閉団形89名定員	…信貴造船	2艇
イ 救命艇	複合型6名定員	…東洋ゴム	2艇
ウ 救命筏	膨張式25名定員	…三菱電機	4組
エ CO2固定消火装置(機関室用)	…川重防災	1式	
オ スプリンクラー装置	…能美防災	1式	
カ 火災探知警報装置	…能美防災	1式	



令和7年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項

1 趣旨

この事業の趣旨は次のとおりとする。

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村（以下「1市4町1村」という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や星空観察、島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。

2 主催等

主催 秦野市・秦野市教育委員会

共催 中井町・中井町教育委員会、大井町・大井町教育委員会、
松田町・松田町教育委員会、二宮町・二宮町教育委員会、
清川村・清川村教育委員会

3 事業の概要

(1) 事前研修

本事業に参加する中学生（以下「研修生」という。）に対して、本事業の趣旨、内容等についての理解を深め、本研修に必要な準備をさせるとともに、研修生相互の交流を図る。

また、団体行動の規律を徹底させ、本研修における各自の役割を分担させる。

- ・期日 令和7年7月12日（土）午後1時30分から午後4時
- ・場所 はだのこども館 多目的ホール

(2) 本研修

- ・期日 令和7年8月6日(水)から8月8日(金)まで2泊3日
- ・行程 秦野市役所→清水港→新島→清水港→秦野市カルチャーパーク
(秦野市役所～清水港は大型バスを利用)
- ・使用船舶 学校法人東海大学海洋調査研修船「望星丸」 1, 777t
- ・内容 船上…海洋観測、星空観察、グループワーク、
洋上フェスティバルなど
陸上…海水浴、ウォークラリー、露天風呂など

4 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者の構成

(1) 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者は総勢 118 名とし、構成は次のとおりとする。

1 統括責任者	1名
2 運営管理者	1名
3 指導主任	1名
4 指導担当	5名
5 看護担当	2名
6 運営担当	8名
7 研修生	100名

(2) その他、当事業の実施に当たり実行委員長が必要と認めた者については、定員の範囲内において参加を認める。

5 構成員の任務等

(1) 任務

- ア 統括責任者は、参加者を代表するとともに、全体を統括する。
- イ 運営管理者は、統括責任者を補佐するとともに看護担当、運営担当を指導し、東海大学など外部との調整を行い、参加者全体を統括する。
- ウ 指導主任は、統括責任者と連絡を密にするとともに、指導担当を統括し助言を与える。
- エ 指導担当は、指導主任と連絡を密にするとともに、研修プログラムの企画運営及び研修生の指導的役割を担当する。
- オ 看護担当は、参加者の保健、衛生について担当する。
- カ 運営担当は、運営管理者及び指導主任と連絡を密にするとともに、庶務を担当する。また、指導担当を補助し、研修生の活動を支援する。
- キ 研修生は、団体行動のもとに研修に参加し、役割を分担する。

(2) 選任等

- ア 統括責任者については、実行委員会が指名するものとする。
- イ 研修生の決定は、応募者の中から応募資格の規定に基づき、予め実行委員長がを行い、実行委員会の承認を得るものとする。
- ウ 研修生として不適当と認められる者については、研修前後を問わず研修生の資格を取り消すものとする。
- エ 事業の円滑な実施を図るため、広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会を設け、その組織・運営については、実行委員会で決定する。

6 研修生応募資格及び募集方法

(1) 応募資格

- ア 1市4町1村に居住している中学生。
- イ 事前研修を含め、全日程に参加できる人。
- ウ 本研修後、研修レポートを提出できる人。
- エ 主催者の指示、注意を守り、規律ある集団生活ができる人。
- オ 健康状態が良好である人。

(2) 募集方法

公募とし、所定の参加申込書に必要事項を記入し、1市4町1村の広域連携中学生交流洋上体験研修事業の担当課に提出する。

(3) 募集期間

令和7年5月15日（木）から6月2日（月）まで

7 研修生の参加負担金

参加する研修生の負担金は、23,000円とする。

8 その他

この要項に定めるものの他、本事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、令和7年4月11日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。

令和7年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会と称する。

(目的)

第2条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項の趣旨に従い、洋上体験研修事業について協議する目的で設置する。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を推進する。

- (1) 事業の企画立案、実施及び評価・反省に関すること。
- (2) 運営委員会の組織・運営等に関すること。
- (3) 目的を達成するための調査・研究に関すること。
- (4) その他、目的達成に必要な事項に関すること。

(構成)

第4条 本会は、秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村(以下「1市4町1村」という。)の教育関係者、PTA関係者、行政関係職員及び学識経験者9名で構成する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 実行委員長 1名
 - (2) 副実行委員長 1名
 - (3) 監査 1名
- 2 役員は、委員の互選とする。
- 3 実行委員長は、本会を代表し、事業の総体的事項を統括する。
- 4 副実行委員長は、実行委員長を補佐し、実行委員長に支障があるときは、その職務を代行する。
- 5 監査は、会計の監査に当たる。

(顧問)

第6条 事業の総合的な企画・運営に関する相談役として顧問を置く。

- 2 顧問は、1市4町1村の教育長とする。

(会議)

第7条 本会は、実行委員長が招集する。

- 2 会議の議長は、実行委員長がこれに当たる。

(事務局)

第8条 本会の事務局は、1市4町1村の生涯学習主管課とする。なお、事務所は秦野市文化スポーツ部生涯学習課内に置く。

- 2 事務局は、実行委員会との連絡調整及び事業推進に当たる。

(その他)

第9条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は実行委員会の中で協議して定める。

附 則

この規約は、令和7年4月11日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。

令和7年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会規約

1 構成及び選任について

広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項（以下「要項」という。）に基づき、原則として18名で構成する。

また、選任については、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会が決定する。

2 任務について

運営委員会は、要項に基づき広域連携中学生交流洋上体験研修事業（以下「研修事業」という。）の研修プログラムの運営及び研修生の指導的役割を担う。

3 運営委員会の役割分担について

研修事業を円滑に運営するため、役職を次のとおり定める。

また、指揮系統を明確にするための組織図は別紙のとおりとする。

1 統括責任者	1名
2 運営管理者	1名
3 指導主任	1名
4 指導担当	5名
5 看護担当	2名
6 運営担当	8名

4 運営委員会議の開催について

運営委員会議は、秦野市文化スポーツ部生涯学習課（以下、「生涯学習課」という。）と調整しながら隨時開催するものとする。

5 その他

この規約に定めるほか、本事業に関して必要な事項は運営委員会と生涯学習課で協議する。

附則

この規約は、令和7年4月11日から施行する。

令和7年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会規約

1 構成及び選任について

広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項（以下「要項」という。）に基づき、原則として18名で構成する。

また、選任については、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会が決定する。

2 任務について

運営委員会は、要項に基づき広域連携中学生交流洋上体験研修事業（以下「研修事業」という。）の研修プログラムの運営及び研修生の指導的役割を担う。

3 運営委員会の役割分担について

研修事業を円滑に運営するため、役職を次のとおり定める。

また、指揮系統を明確にするための組織図は別紙のとおりとする。

1 統括責任者	1名
2 運営管理者	1名
3 指導主任	1名
4 指導担当	5名
5 看護担当	2名
6 運営担当	8名

4 運営委員会議の開催について

運営委員会議は、秦野市文化スポーツ部生涯学習課（以下、「生涯学習課」という。）と調整しながら隨時開催するものとする。

5 その他

この規約に定めるほか、本事業に関して必要な事項は運営委員会と生涯学習課で協議する。

附則

この規約は、令和7年4月11日から施行する。



研修運営：広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会

秦野市・秦野市教育委員会、中井町・中井町教育委員会
大井町・大井町教育委員会、松田町・松田町教育委員会
二宮町・二宮町教育委員会、清川村・清川村教育委員会